

2012（平成24）年度

# 沖縄県平和祈念資料館年報 第13号



沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

2012（平成24）年度

# 沖縄県平和祈念資料館年報

## 第13号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

# 目 次

## 沖縄県平和祈念資料館設立理念

### はじめに

#### I 概 要

1 沿革	1
2 日誌(抄)	4
3 施設	6
4 組織	9
5 決算	15
6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会	16

#### II 調査研究事業

1 企画展のための調査研究	18
2 類似館調査	19
3 第19回日本平和博物館会議	20
4 証言映像の編集	21

#### III 展示企画事業

1 常設展	22
2 企画展	
(1) 特別企画展	24
(2) 子ども・プロセス企画展	25

#### IV 資料収集・活用事業

1 新収蔵品目録	28
2 資料貸出	
(1) 写真パネル・実物その他	28
(2) 証言映像の貸出	29
3 撮影・掲載等利用一覧	30

#### V 教育普及事業

1 教育普及行事	
(1) 児童・生徒の平和メッセージ展	33
(2) 親子ビデオ上映会	35
(3) 夏休み子ども向け企画	35
2 教育機関との連携	
(1) 平和講話	36
(2) 博物館学芸員実習	37
(3) 児童・生徒の職場体験	37
3 講座・講習会・研修会	
(1) 沖縄戦講座	38
(2) 沖縄県平和祈念資料館講習会	38
(3) 県立学校初任者向け講習会	38
(4) 島尻地区小中教職員10年経験者研修会	39
(5) 沖縄県新規職員採用後期研修者への講義	39

#### VI 広報活動・出版等

1 県外修学旅行誘致活動	40
2 2012 JICA フェスティバル	40
3 刊行物	41

#### VII その他の事業

1 復帰40周年「子や孫につなぐ平和のウミ事業」	43
2 「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」 事業プロジェクト	43

3	沖縄・カンボジア「平和博物館」協力事業成果展	45
4	「絵本が語りつぐ戦世」	46
5	「児童生徒の平和メッセージ展 in Hawaii」開催報告	47
<b>Ⅵ 入館者状況</b>		
1	月別入館者数	48
2	年度別入館者数 慰霊の日無料入館者数	49
3	月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況	50
4	市町村別団体入館者数	51
5	都道府県別団体入館者数	52
<b>Ⅸ 八重山平和祈念館</b>		
1	概要	53
2	施設	55
3	事業概要	56
4	月別入館者数	60
<b>X 沖縄県平和祈念資料館友の会活動報告</b>		
1	活動内容	61
2	申込方法	61
3	申込条件	61
4	平成 24 年度講話・ガイド活動実績件数	61
5	平成 24 年度活動内容	62
<b>XⅠ 関係条例・規則・要綱</b>		
1	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	63
2	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	68
3	八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	74
<b>XⅡ 資料</b>		
1	各種申請書・要項	77～86
2	沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況	87



## はじめに

沖縄県平和祈念資料館は「平和の礎」と一体となって沖縄戦の実相・教訓を後世へ正しく伝え、平和を大切にする「沖縄のこころ」を世界へ発信し、恒久平和の実現に寄与するために様々な取り組みを行っています。

常設展示は、沖縄戦の実相と戦後における住民の戦災復興、平和を希求する人々の足跡などを展示しています。おかげさまで県内外から多くの方々が来県され、平成24年5月には入館者500万人に達しました。展示をより深く理解してもらうために、県内小中学校・高等学校及び特別支援学校等の児童・生徒を対象に平和講話を提供しており、平成24年度は124回実施しました。

期間、テーマを定めて実施する企画展示では、戦世、および米国による沖縄統治時代、そして復帰をテーマに第13回特別企画展「沖縄人が見た戦世とアメリカ世」を開催しました。戦争の悲惨さ、そして戦後アメリカに統治され続けた沖縄人の苦勞を知ることによって平和の尊さを実感し、今なお続く沖縄の様々な問題について考える機会となるよう構成しました。また、子ども・プロセス展示室では、沖縄戦、復帰、貧困、人権、紛争、国際理解について、子どもたちの視点にたった企画展を実施しました。

教育普及活動では、学校連携事業として位置づけている「児童・生徒の平和メッセージ展」が22回を数え、県内小中高等学校及び特別支援学校等の年中行事として定着しつつあります。平成24年度は、「図画」「作文」「詩」の3部門で総数4,453点の作品応募がありました。「詩」部門の高等学校の部最優秀作品「礎に思いを重ねて」は、「沖縄全戦没者追悼式」において朗読され、心を打つ平和へのメッセージが県内外へ発信されました。昨年度の優秀作品は英訳され、当館職員の政策課題海外自主企画研修の中で、ハワイでも展示され好評を博しました。

平成24年度は、復帰40周年事業として、祖父母や父母の戦争体験・教訓を家族で共有し、継承することを目的とした「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」を2カ年計画でスタートさせました。昨年度は、「戦争体験証言収録拡大版事業」における証言50人分の収録と「家族に語り継ぐ平和のウミイ事業」における証言300人分の収録、編集を終えることができました。

また八重山平和祈念館では、「平和の発信拠点」として、復帰前から復帰後の八重山を写真や資料で紹介することで当時の様子を知るとともに、平和について考える機会とするため復帰40周年記念企画「資料に見る八重山のあゆみ」展を開催しました。さらに「八重山 戦後の開拓移民」展、「号外新聞」展、「平和と人権につくした偉人」展や児童生徒対象の平和学習会やビデオ・アニメ上映会などを実施しました。

当館及び八重山平和祈念館は、一人でも多くの方に「沖縄戦」の実相を伝え、そして、世界の平和について考える“場”として活用していただきたいと考えており、活動状況をまとめたこの冊子が広くご活用いただければと思います。

平成25年5月

沖縄県平和祈念資料館  
館長 上與那原 美和子

# I 概要

## 1 沿革

### [沖縄県立平和祈念資料館] (旧館)

1972 (昭和47) 年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつけられ、1974 (昭和49) 年に鉄筋コンクリート2階建て (延床面積1,003㎡) の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975 (昭和50) 年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000 (平成12) 年3月31日に閉館。

### [沖縄県平和祈念資料館] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000 (平成12) 年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

### [歴代館長]

外間 盛治	2000 (平成12) 年4月～2002 (平成14) 年3月
阿波根 昌安	2002 (平成14) 年4月～2003 (平成15) 年3月
島袋 記美子	2003 (平成15) 年4月～2005 (平成17) 年3月
川満 茂雄	2005 (平成17) 年4月～2007 (平成19) 年3月
宮城 智子	2007 (平成19) 年4月～2009 (平成21) 年3月
大川 芳子	2009 (平成21) 年4月～2011 (平成23) 年3月
呉屋 禮子	2011 (平成23) 年4月～2013 (平成25) 年3月
上與那原 美和子	2013 (平成25) 年4月～

### [主な事項]

1993 (平成5) 年度	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体 (商工美術㈱ ㈱沖縄ノムラ) と締結する。
	1月31日	第1回「平和祈念資料館移転改築事業」推進検討委員会開催
1994 (平成6) 年度	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995 (平成7) 年度	3月28日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞team DREAMに決定
1996 (平成8) 年度	6月25日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 展示設計プロポーザル競技により (株) 乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 監修委員会開催
1997 (平成9) 年	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決
	10月22日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
	3月17日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) ・資料収集広報キャンペーンを開催 (巡回展、講演会)
1999 (平成11) 年度	6月30日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事完了
	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行
	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会 (最終) 開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館 (旧資料館) 閉館

2000(平成12)年度	4月1日	開館(一般公開始まる)
	5月28日	入館者10万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催:広島市、長崎市 (~27日)
	7月21日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催(~23日) アメリカ大統領「平和の礎」訪問
	3月23日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
	3月30日	『資料館学習の手引き』発刊
2001年(平成13)年	4月25日	入館者50万人達成
	5月30日	平成13年度第1回沖縄県平和祈念資料館運営協議会開催
2002(平成14)年度	10月18日	入館者100万人達成
2003(平成15)年度	12月11日	入館者150万人達成
	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004(平成16)年度	7月24日	第1回ボランティア養成講座開始(~12月18日)平成18年度まで
2005(平成17)年度	4月7日	入館者200万人達成
2006(平成18)年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2007(平成19)年度	6月21日	ミュージアムショップ開店(運営:沖縄県平和祈念財団)
	7月6日	入館者300万人達成
2008(平成20)年度	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月9日	入館者350万人達成
2009(平成21)年度	5月19日	「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業(~2012年3月)
	10月13日	屋外展示資料移設工事(~11月20日)
	10月17日	常陸宮殿下・妃殿下お成り
	11月18日	入館者400万人達成
	12月22日	常設展示のキャプション整備(英文表記追加)
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え(~3月31日)
	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え(~3月19日)
2010(平成22)年度	4月1日	收藏品等整理業務委託(~H24年3月31日)
	7月15日	ピースメモリアルグッズ開発事業委託(~H24年3月31日)
	7月28日	皇太子行啓
	10月5日	企画展示室のスポット照明をLED照明に交換
	10月10日	沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発刊
	10月27日	常設展示(第1・第2)のケースのLED照明調整
	10月30日	『詩集 写真の中の少年』を刊行
	2月3日	入館者450万人達成
	2011(平成23)年度	10月20日
	3月6日	ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
	3月7日	合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館にて開催
	3月15日	遮熱工事(~3月31日)

[主な企画展等、その他催し]

- 2000(平成12)年度・・・企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展(5回)
- 2001(平成13)年度・・・特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会(2回)
- 2002(平成14)年度・・・企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2003(平成15)年度・・・企画展「銃後を護れー戦時下の暮らしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2004(平成16)年度・・・特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2005(平成17)年度・・・特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(3回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2006(平成18)年度・・・特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2007(平成19)年度・・・特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世(イグサ)の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座(2回)
- 2008(平成20)年度・・・特別企画展「カンボウヌクエヌクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座(2回)、新収蔵品展
- 2009(平成21)年度・・・特別企画展「イクサユヌワラビー戦時下の教育と子どもたちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(7回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!!平和創造のうた」、新収蔵品展
- 2010(平成22)年度・・・特別企画展『「沖縄のこころを世界へ」ー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭2010」(20回)、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパネディスカッション」、「『NAHAマラソンの道』～走る道、逃げる道～」展、「子ども・未来・メッセージ展」(台湾・沖縄交流事業)
- 2011(平成23)年度・・・特別企画展『「アメリカ世(ユー)の沖縄」ー逞しくしたたかに生きてきたウチナーンチューー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」

## 2 日誌(抄) (2012(平成24)年度)

- 4月3日 参議院沖北特委岸信夫委員長来館
- 4月5日 平和講話等利用説明会
- 4月30日 園田康博内閣府大臣政務官来館
- 5月5日 親子ビデオ上映会
- 5月28日 入館者500万人達成
- 6月7日 蒲島郁夫熊本県知事来館
- 6月9日 第6回千羽鶴引き渡し式
- 6月18日 「絵本が語り継ぐ戦世」開催(～8月5日)
- 6月18日 台風のため16時30分に業務停止
- 6月18日 第1回子ども・プロセス企画展「子どもたちと沖縄戦-廃墟からの復興」開催(～7月11日)
- 6月22日 慰霊の日前夜祭のため、開館時間1時間延長
- 6月23日 第22回児童・生徒の平和メッセージ展開催(～8月19日)
- 6月23日 開館時間1時間延長・親子ビデオ上映会
- 6月23日 川端達夫沖縄担当大臣来館
- 7月13日 「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」委託
- 7月17日 常設展示室消毒、燻蒸作業のため臨時休館(～7月19日)
- 7月21日 夏休み自由研究相談室(～8月31日)
- 8月1日 駐日イスラエル大使夫妻来館
- 8月1日 第2回子ども・プロセス企画展「夏休み自由研究-沖縄戦について調べてみよう」開催(～8月31日)
- 8月11日 親子平和学習ツアー(8/11のみ)・ビデオ上映会(～8/12)
- 8月15日 学芸員実習(沖縄国際大学より1名)
- 8月19日 夏休み子ども自由研究教室
- 8月26日 台風15号により、終日業務停止(～27日)
- 9月16日 台風16号により、終日業務停止
- 9月20日 平成24年度第1回沖縄県平和祈念資料館運営協議会開催
- 9月29日 台風17号により、終日業務停止
- 10月5日 ミス・インターナショナル世界大会出場者来館
- 10月10日 第13回特別企画展「ウチナーンチュが見たイクサユーとアメリカユー」開催(～12月9日)
- 10月12日 第6回平和賞授賞式(名護市)当館事業に関するパネル展示
- 10月16日 インターンシップ沖縄水産高校より2名(～10月18日)
- 10月17日 第3回子ども・プロセス企画展「太平洋戦争と学童疎開-ふるさとを遠く離れて」開催(～11月30日)
- 10月23日 JICA草の根技術協力「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」協力事業研修(カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館ランディ課員、ピザイ課員、カンボジア国立博物館ソコンデヴィ副課長、コサル副課長4名参加 ～25日)
- 10月24日 韓国5.18記念財団インターン朝鮮大学校3年生 アヒョン・ジョンさん研修開始(～1月11日)
- 10月25日 加賀屋健内閣府大臣政務官来館
- 11月1日 全国豊かな海づくり大会美ら海おきなわ大会関連事業「我がふるさと海の民いとまん 上原健次写真展」開催(～20日)
- 11月6日 アルフレッド・マグルビー米国総領事来館
- 11月8日 日本平和博物館会議(広島平和記念資料館 ～9日)
- 11月10日 JICA国際協力・交流フェスティバル2012に「沖縄県平和祈念資料館事業展」展示(沖縄国際センター)(～11月11日)
- 11月14日 インターンシップ糸満高校より3名(～16日)
- 11月18日 全国漁業協同組合連合会服部都弘会長夫妻来館



- 11月29日 「カンボジア光と影」 展開会 (～12月12日)
- 12月4日 沖縄戦講座 参加者50名
- 12月5日 インターンシップ向陽高等学校3名 (～12月7日)
- 12月10日 第4回子ども・プロセス企画展「私たちにできることーシャブラニール (沖縄平和賞受賞) の活動を中心にー」 開催 (～1月31日)
- 12月12日 県外修学旅行説明会 (～12月14日 東京)
- 12月16日 台風被害による屋根瓦の修理 (～12月21日)
- 1月13日 政策課題海外自主企画研修 (於:ハワイ 功刀主査 ～1月29日)
- 1月18日 特別企画展八重山移動展 (～2月24日)
- 1月19日 平和の火の写真展 (～1月31日 主催平和祈念財団)
- 1月30日 沖縄観光キックオフプロジェクト県外修学旅行説明会 (大阪)
- 1月30日 第1回類似館調査 (大阪, 京都 ～1月31日 )
  - ・大阪国際平和センター ・大阪人権博物館
  - ・立命館大学国際平和ミュージアム
- 2月1日 戦没者遺骨収集活動写真パネル展 (～2月17日主催平和祈念財団)
- 2月4日 JICA草の根技術協力「沖縄・カンボジア『平和博物館協力』事業成果展 (～3月24日)
- 2月7日 第5回子ども・プロセス企画展「子どもたちが学び・伝える沖縄本土復帰40周年 (中学校社会科新聞展 ～5月24日)
- 2月13日 平和祈念資料館運営協議会八重山部会 (八重山平和祈念館)
- 2月14日 資料館講習会 (参加32名)
- 2月14日 「平和文化」創造の博物館づくり協力事業専門家派遣 (～23日カンボジア 宮城)
- 2月20日 鳩山由紀夫元首相来館
- 3月5日 類似館視察調査 (東京都 ～7日)
  - ・国立科学博物館 ・遊就館
  - ・昭和館 ・しょうけい館
  - ・平和祈念展示資料館 ・Wam 女たちの戦争と平和資料館
- 3月22日 第2回平和祈念資料館運営協議会開催



沖縄県平和祈念資料館外観

### 3 施設

#### (1) 平和祈念資料館の役割

##### ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた 20 万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

##### イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

##### ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

##### エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

##### オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

#### (2) 建設概要

##### ア 事業期間 平成5年度～平成11年度

##### イ 事業規模 地下1階地上2階 RC造り

敷地面積 約12,808平方メートル

延床面積 10,179平方メートル

##### ウ 総事業費 約7,291百万円(県債6,510、施設整備基金139、一般642)

工事費 4,900百万円

設計費 155 "

展示工事費 1,535 "

展示設計費 126 "

情報システム 171 "

その他 404 "

##### エ 主な施設

常設展示室(1～5室) 1,360平方メートル

企画展示室 255 "

子ども・プロセス展示室 518 "

情報ライブラリー 472 "

平和祈念ホール 245 "

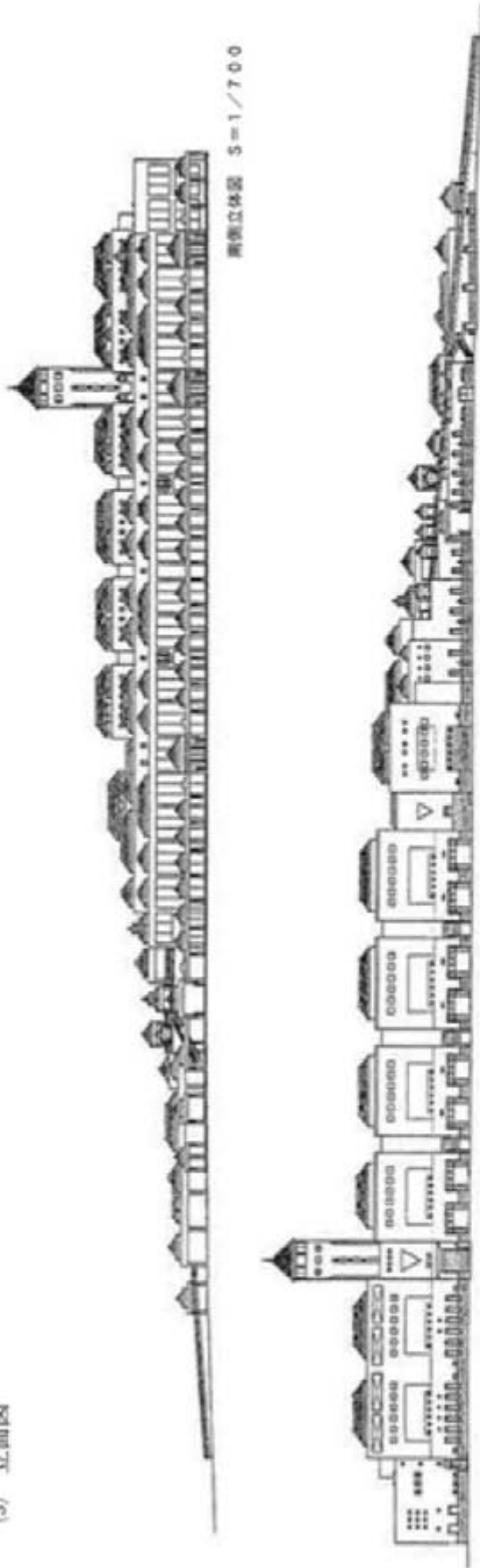
海と礎の回廊 256 "

会議室 200 "

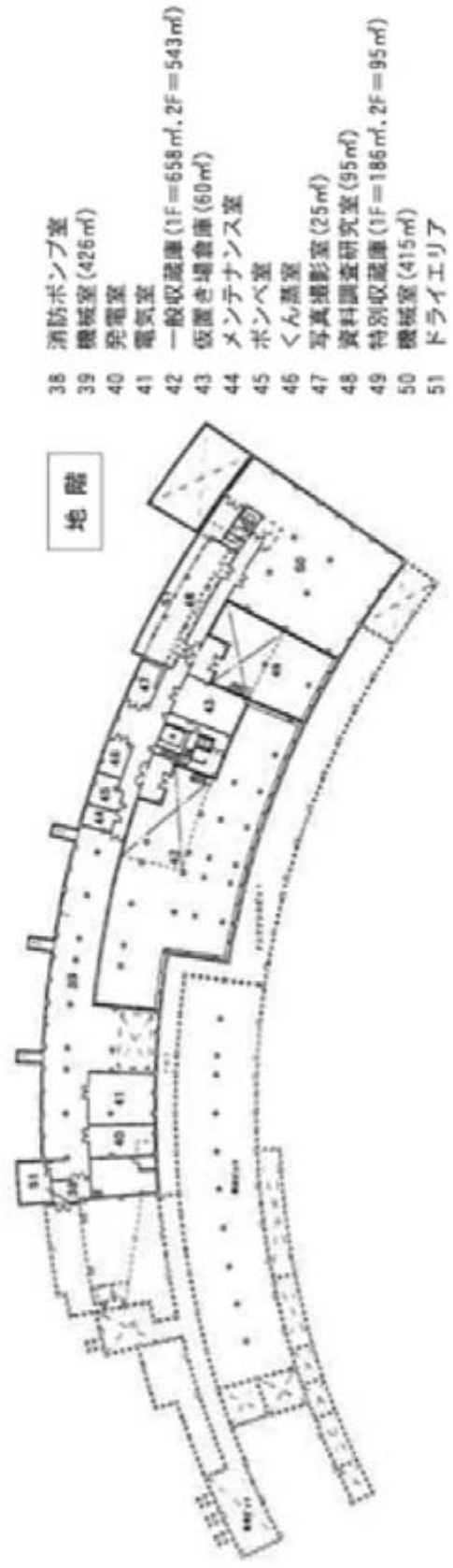
一般収蔵庫 1,201(1F、2F) "

特別収蔵庫 281(1F、2F) "

(3) 立面図



(4) 平面図

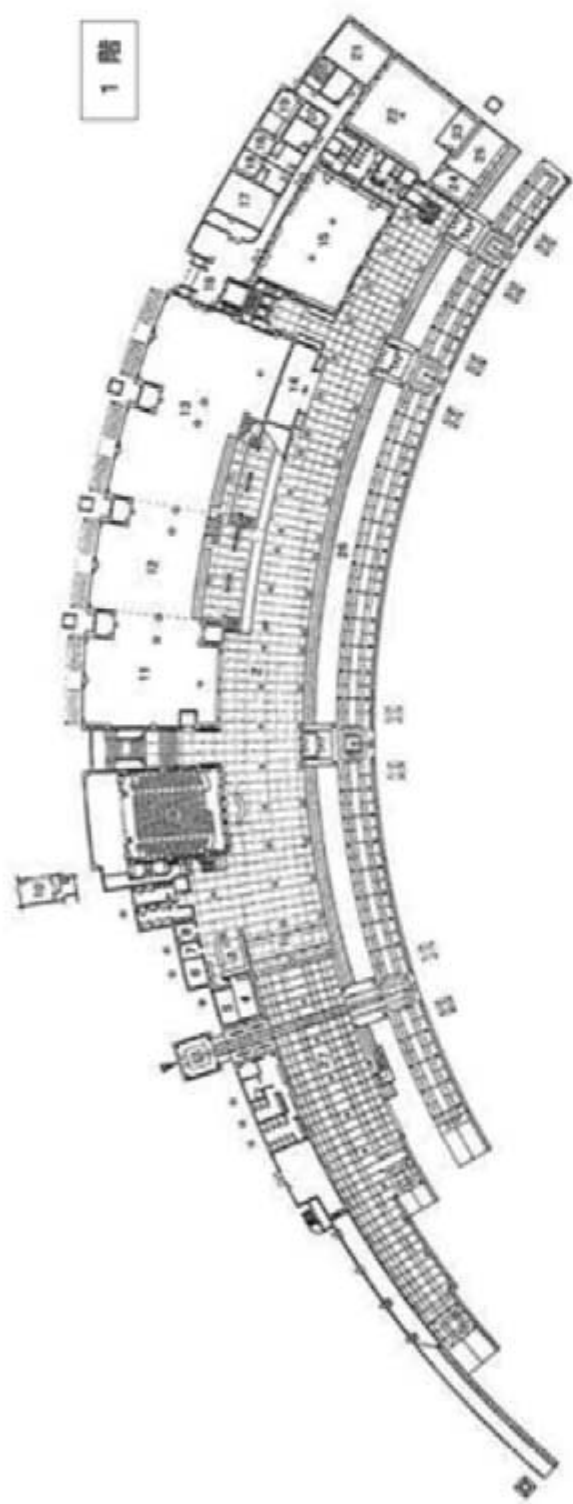


- 1 エントランス
- 2 ホール(1510㎡)
- 3 ミュージアムショップ(28㎡)
- 4 事務室
- 5 ボランティア添乗員室
- 6 授乳・教護室
- 7 TELルーム
- 8 ロッカー・自販機室
- 9 平和記念ホール(245㎡・231席)
- 10 来歴・調整室
- 11 子供展示室(285㎡)
- 12 プロセス展示室(233㎡)
- 13 情報ライブラリー(472㎡)
- 14 アルコープ
- 15 企画展示室(255㎡)
- 16 荷解き室
- 17 情報処理室(49㎡)
- 18 職員休憩室
- 19 守衛室
- 20 給湯室
- 21 事務会議室(52㎡)
- 22 事務学芸員室(158㎡)
- 23 小会議室
- 24 部長室
- 25 応接室
- 26 中庭
- 27 ヒロティー

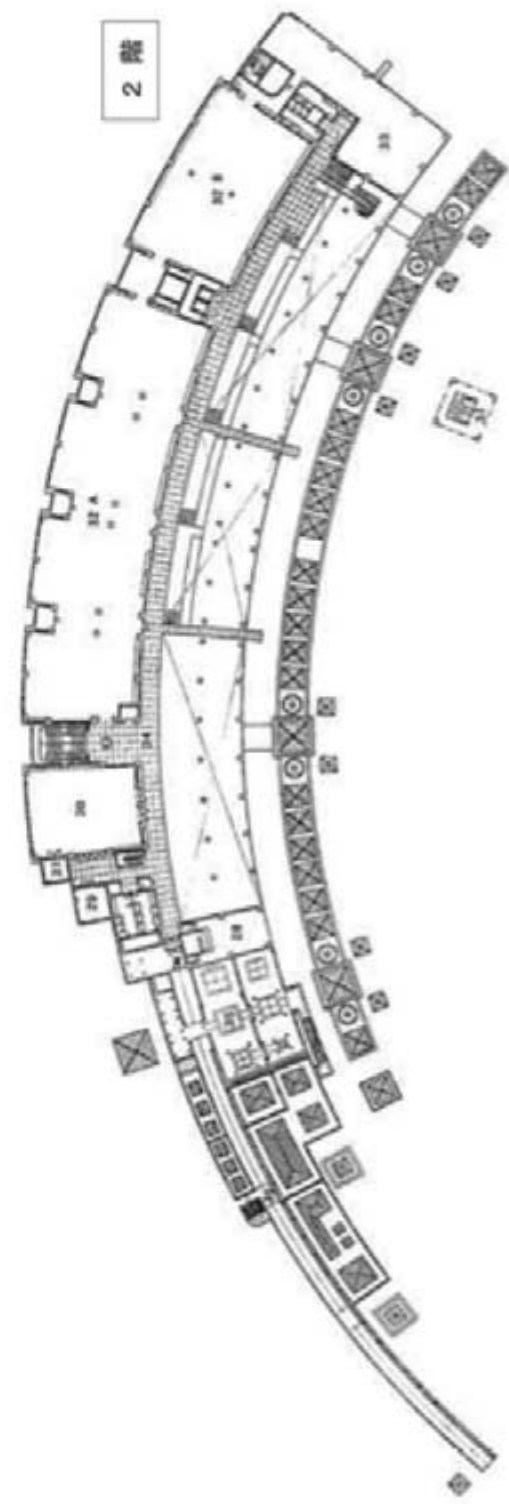
1階 5=1/700

- 28 喫茶室(86㎡)
- 29 事務室
- 30 会議研修室(200㎡・100席)
- 31 調整室
- 32A 常設展示室1~4(957㎡)
- 32B 常設展示室5(403㎡)
- 33 海と礎の回廊(256㎡)
- 34 ギャラリー(373㎡)
- 35 テラス
- 36 外部スロープ
- 37 展望室

2階 5=1/700



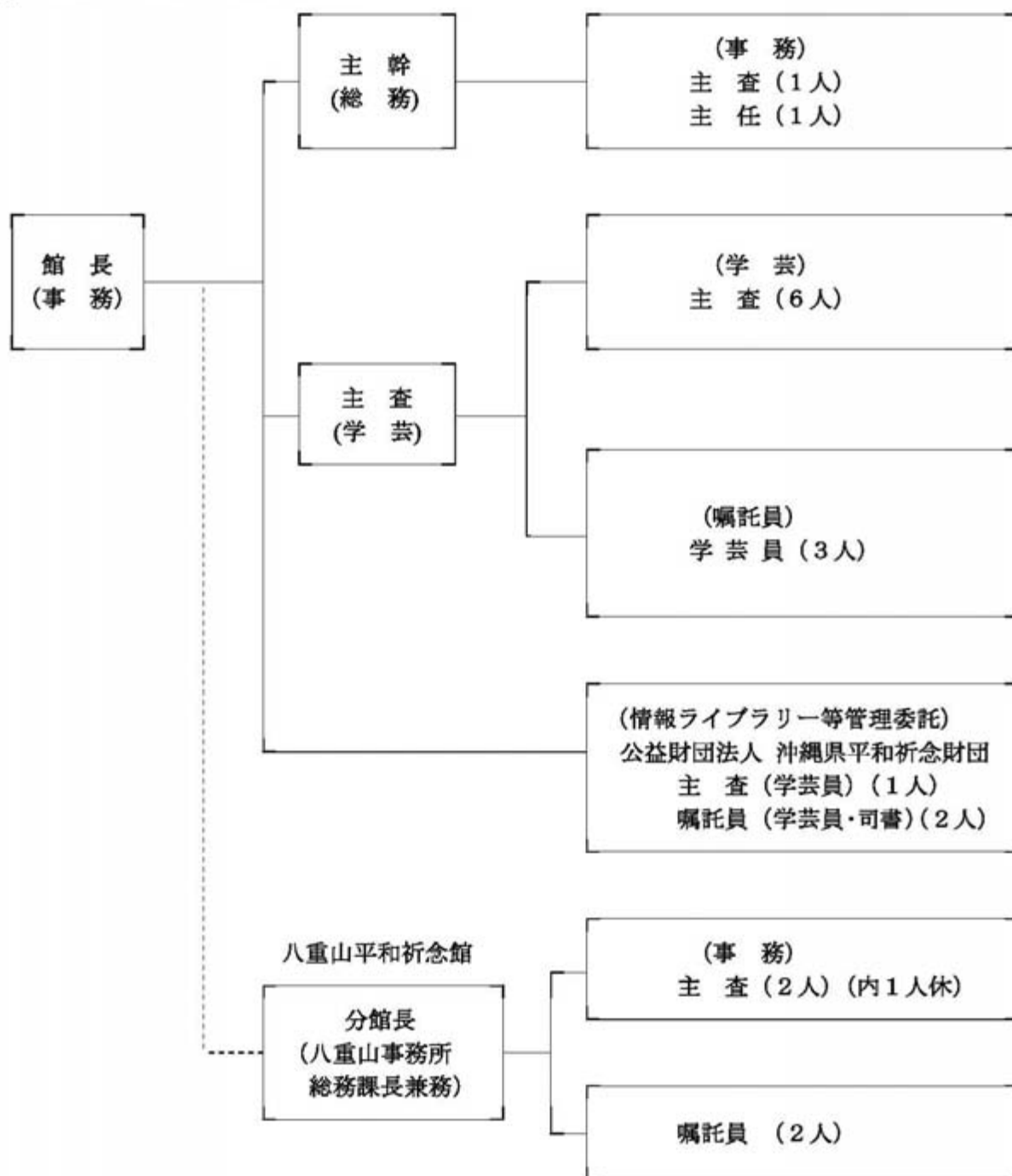
1階



2階

## 4 組織

### (1) 機構（平成25年4月1日現在）



\*その他ビル管理会社の常駐委託職員

受付 (4人)、警備 (3人)、清掃 (2人)、機械設備管理 (1人)



(2) 職員構成（平成25年4月1日現在）

職名	氏名	担当業務
参事兼 館長	上與那原 美和子	資料館業務の総理に関する事

総務

主幹	稲福 淳子 (出納員)	管理運営に係る将来計画の策定に関する事項 予算、決算、監査の総括に関する事項 財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、金庫の鍵、公印保管等） 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 議会関係に関する事項 委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項 運営協議会に関する事項（公募・会議開催の庶務的事項） 土日祝日勤務割り振りに関する事項 その他庶務会計に関する事項
主査	徳嶺 かおり	給与の支払、諸手当の認定、任用等服務に関する事項 文書の收受、保管に関する事項 出勤簿、超勤命令簿等の管理に関する事項 需用費、役務費、使用料及び賃借料等の執行に関する事項 旅費、報酬、謝金に関する事項 決算に関する事項 公用車の管理に関する事項 消耗品、切手等の受払に関する事項 雑入に関する事項 共済事務に関する事項 その他庶務会計に関する事項
主任	上地 琢磨	出納事務に関する事項（日計表の確認含む） 施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項 団体入館予約、入館者の日報月報等統計業務に関する事項 歳入事務（観覧料等）に関する事項（八重山平和祈念館含む） 委託料に関する事項 修繕料に関する事項 音声ガイド等音響機器の管理に関する事項 機器のリースに関する事項 備品の執行管理に関する事項 公有財産に関する事項 その他庶務・会計に関する事項

## 学 芸

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 (総 括)	宮城 哲夫	学芸業務の総括及び学芸業務に関する事項 (主) 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項 (主) 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項 (主) 運営協議会に関する事項 (委員の選任、運営及び課題) (主) 予算・決算・議会の資料作成に関する事項 (主) 沖縄県資料保存利用機関連絡会議 (主) 要人・議員団・研修等案内及び割り振り (主) 管理運営の将来計画策定に関する事項 (学芸的事項) (主) JICA連携事業に関する事項 (副) 消防防災に関する事項 (副) 平和講話に関する事項 (共)
主 査	真栄平房佳	子や孫につなぐ平和のウムイ事業 (主) JICA連携事業に関する事項 (主) 常設展示室 (第4 展示室) の管理運営に関する事項 (主) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) 児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項 (副) その他学芸業務に関する事項 (共)
主 査	功刀 弘之	児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項 (主) 国際協力調整に関する事項 (韓国学生受け入れ・平和人権施設及び財団会議韓国留学生・特別企画展等) (主) 沖縄戦講座に関する事項 (主) 常設展示 (子どもアトミ展示室) の管理運営に関する事項 (主) 情報ライブラリー活性化など活用促進に関する事項 (主) 千羽鶴未来プロジェクト及び千羽鶴の受理に関する事項 (主) 特別企画展の企画・立案 (副) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) JICA研修生への講義に関する事項 (共) 子や孫につなぐ平和のウムイ事業に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主 査	新垣 誠	特別企画展の企画・立案に関する事項 (主) 展示物等の撮影許可・著作権申請等に関する事項 (主) 沖縄県地域史協議会の管理に関する事項 (主) 沖縄県博物館協会に関する事項 (主) 常設展示室 (第5 及び屋外) の管理運営に関する事項 (主) 千羽鶴飛翔絵皿展 (主) JICA連携事業に関する事項 (副) 資料館講習会 (副) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) JICA研修生への講義に関する事項 (共) 子や孫につなぐ平和のウムイ事業に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)

主査	比嘉 正樹	<p>新収藏品展に関する事項（主）  証言映像・収蔵資料の貸出に関する事項（主）  常設展示（第3室）の管理に関する事項（主）  寄贈資料の受理、整理保存に関する事項（主）  収蔵資料（武器類、軍装品類、衣類・布・工具・農具類・写真、文書、その他）の管理に関する事項（主）  日本平和博物館会議に関する事項（主）  質問照会の回答担当に関する事項（主）  証言映像の編集に関する事項（主）  （年度途中）提案展示会等への対応に関する事項（主）  子や孫につなぐ平和のウムイ事業に関する事項（副）  児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（共）  JICA研修生への講義に関する事項（共）  学芸員実習の講義に関する事項（共）  平和講話に関する事項（共）  その他学芸業務に関する事項（共）</p>
主査	島袋 篤	<p>県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項（主）  友の会活動の支援・推進に関する事項（主）  学校団体等の利用促進に関する事項（主）  類似館・次年度特別企画展調査に関する事項（主）  次年度特別企画展の企画等に関する事項（主）  資料館講習会の企画等に関する事項（主）  キャリア教育に関する事項（主）  ホームページに関する事項（主）  常設展示室（第1・第2）の管理運営に関する事項（主）  特別企画展の企画・立案に関する事項（副）  収蔵資料（武器類・軍装品類・衣類・布製品・工具・農具類・写真、文書類・その他）の管理に関する事項（副）  質問照会の回答担当に関する事項（副）  児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（共）  JICA研修生への講義に関する事項（共）  学芸員実習の講義に関する事項（共）  平和講話に関する事項（共）  その他 学芸業務に関する事項（共）  夏休み親子平和学習に関する事項（主）</p>
主査 (短時間勤務)	比嘉 市子	<p>アンケート分析、月ごとの総括に関する事項（主）  アニメ上映会に関する事項（こどもの日・慰霊の日・夏休み）（主）  「資料館だより」の編集・発行に関する事項（主）  燻蒸・消毒の実施に関する事項（主）  『年報』等の発行に関する事項（主）  JICA研修生への講義に関する事項（共）  子や孫につなぐ平和のウムイ事業に関する事項（共）  平和講話に関する事項（共）  学芸員実習の講義に関する事項（共）  児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（共）  その他学芸業務に関する事項（共）</p>
嘱託員 (学芸員)	新垣 真弓 嘉手苺 春音 吉江 史扇	<p>資料・収蔵品の整理・展示等学芸業務の補助に関する事項  資料等の送付に関する事項  観覧者アンケート等入力・統計・分析に関する事項  会議室・ホール等の借用受付に関する事項  沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項  HPの作成に関する事項  館内事業案内掲示など広報等に関する事項  その他上司の命に関する事項</p>

## 委 託

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 (学芸員)	平 田 守	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理運営に関する事項 沖縄戦の調査研究に関する事項 修学旅行・平和教育の講師、説明に関する事項 館長の命による業務に関する事項
嘱 託 員 (学芸員)  (司 書)	新 里 彩  上 原 久美	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理運営に関する事項 館長の命による業務に関する事項

## 八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分 館 長	登野城 正一	分館の事務を処理し、所属職員を指揮監督すること。
主 査 (主 査)	新里 和也  (前盛 義和)	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 その他、館の運営及び指示された事項
嘱 託 員	伊敷 幸江  迎里 円	展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する事項 展示物及び資料の説明に関する事項 館の施設及び備品等の維持管理に関する事項 観覧料の収納事務に関する事項 その他八重山平和祈念館の管理運営に関する事項

### (3) 人事異動（平成25年4月1日現在）

#### 沖縄県平和祈念資料館

異動	職名	氏名	摘要
転入	参事兼館長 主 査 主 査 主 査	上與那原 美和子 徳嶺 かおり 島袋 篤 比嘉 市子	県民生活センターから 農業研究センターから 糸満市立西崎中学校から 県立埋蔵文化財センターから
転出	参事兼館長 主 幹 主 査	呉屋 禮子 島袋 成良 金城 まゆみ	定年退職 南風原町立翔南小学校へ 工芸振興センターへ

#### 八重山平和祈念館（分館）

異動	職名	氏名	摘要
転入	分館長 嘱 託	登野城 正一 迎里 円	住宅課から 採用
転出	分館長 嘱 託	宜野座 葵 宮良 早苗	流通政策課へ 退職



## 5 平成24年度 歳入歳出決算（本館のみ）

歳入

単位：円

	常設展示室	ホール等	ミュージアムショップ等	子や孫につなぐ平和のウメイ事業（沖縄振興特別推進交付金）	寄附金	不用品売払代	合計
資料館観覧料	52,559,350						52,559,350
資料館使用料		1,013,645					1,013,645
建物使用料			275,746				275,746
建物貸付料			838,425				838,425
寄附金					0		0
雑入			616,859				616,859
子や孫につなぐ平和のウメイ事業				32,967,000			32,967,000
不用品売払代						23,072	23,072
合計	52,559,350	1,013,645	1,731,030	32,967,000	0	23,072	88,294,097

歳出

単位：円

科目	管理運営事業	展示活動事業	子や孫につなぐ平和のウメイ事業				合計
報酬	251,100	5,892,120					6,143,220
共済費							0
賃金							0
報償費	16,000						16,000
旅費	158,470	695,090	565,970				1,419,530
需用費	35,522,449	678,800					36,201,249
役務費	1,659,841	171,165					1,831,006
委託料	48,610,884	17,420,500	40,644,500				106,675,884
使用料及び賃借料	6,227,975						6,227,975
工事請負費	0						0
備品購入費	42,000						42,000
負担金補助及び交付金	10,000						10,000
公課費	0						0
合計	92,497,719	24,857,675	41,210,470				158,565,864

## 6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

### (1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員及び八重山平和祈念館部会委員名簿

(任期：平成24年9月15日～平成26年9月14日)

区分	役職名	氏名	現職名
学識経験者	会長	島袋秀光	元沖縄県広報アドバイザー
	委員	金城正篤	琉球大学名誉教授
	委員	宮里正子	浦添市美術館長
	委員	鳥山淳	沖縄国際大学総合文化学部准教授
	委員	石堂徳一	石垣市文化協会事務局長
	委員	大城将保	新沖縄県史編集委員
	委員	平良次子	南風原文化センター学芸班長
	委員	古賀徳子	ひめゆり平和祈念資料館学芸係長
教育関係者	委員	嘉納英明	名桜大学教授
その他	委員	安田國重	沖縄県平和祈念資料館友の会長
公募	委員	青山恵昭	美術家
	委員	松田隆仁	広報アドバイザー
	委員	宮城明	元沖縄県立芸術大学教授

### (2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職名	氏名	現職名
教育関係者	部会長	嘉納英明	名桜大学教授
学識関係者	委員	石堂徳一	石垣市文化協会事務局長
その他	委員	安田國重	沖縄県平和祈念資料館友の会長

### (3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

#### ■平成24年度第1回運営協議会

日時：平成24年9月20日（木） 14:00～16:00

場所：沖縄県庁 4階第1会議室

内容：

##### (1) 役員等の選出

- ① 会長、副会長、役員選出
- ② 八重山平和祈念館部会員2名選出

##### (2) 報告

- ① 平成23年度事業報告について
- ② 平成24年度事業経過報告・事業計画について  
・ 子や孫につなぐ平和のウムイ事業について
- ③ 運営協議会の役割について

#### ■第2回運営協議会

日時：平成25年3月22日（金） 14:00～16:00

場所：平和祈念資料館 2階会議室

内容：

##### (1) 議題

- ① 平成25年度事業計画（案）について

##### (2) 報告

- ① 平成24年度八重山平和祈念館部会報告について
- ② 平成24年度事業実績について
- ③ 平成24年度類似館視察報告について

### (4) 八重山平和祈念館部会活動経過

#### ■第1回八重山平和祈念館部会

日時：平成25年2月13日（水） 14:00～16:00

場所：八重山平和祈念館 会議室

内容：

##### (1) 議題

- ① 平成24年度事業報告について
- ② 台風17号により倒木したキナノキについて
- ③ 石垣市から寄託された資料について
- ④ 平成25年度事業計画について

## Ⅱ 調査研究事業

### 1 企画展のための調査研究

#### [目的]

平成24年度第13回特別企画展「沖縄人（ウチナーンチュ）が見た戦世（イクサユ）とアメリカ世（ユ）」の充実を図るために調査研究を行う。

- (1) 県内各地の資料館や博物館、教育委員会及び図書館などの収蔵資料の調査を行う。
- (2) 沖縄戦中から戦後（沖縄の本土復帰）までに関する書籍・レポートを中心に研究を行う。

#### [内容]

戦世（イクサユ）からアメリカ世（ユ）までを体験してきた沖縄人（ウチナーンチュ）について調査研究を行う。

- ・戦世のはじまり
- ・沖縄戦前夜の沖縄人と軍隊
- ・沖縄人が見た沖縄戦（鉄の暴風・地獄の戦場）
- ・沖縄本島以外の沖縄人
- ・アメリカ世の沖縄人
- ・アメリカ世の生活
- ・立ち上がる沖縄人
- ・復興へ向けての取り組み
- ・復帰に向けての取り組み

#### [調査資料館等]

沖縄県公文書館、那覇市歴史博物館、うるま市立石川歴史民俗資料館、沖縄県立博物館・美術館、南風原町立南風原文化センター、沖縄県内各図書館、市町村教育委員会、琉球新報社、沖縄タイムス社、その他

#### [調査文献]

『沖縄戦研究Ⅰ・Ⅱ』『沖縄県史』『与那原町史戦時記録編』『沖縄の歴史と文化』『民衆と社会教育』『沖縄 戦後 50年の歩み激動の写真記録』 その他30冊

## 2 類似館調査

本館の機能充実と有効活用を図るため、国内の類似施設(資料館・博物館等)を中心に、運営と展示の内容と方法、そして活動内容等を視察調査し、今後の当館の事業運営等に役立てる。

<大阪府・京都府>

[期間] 平成25年1月30日(水)～1月31日(木)

[調査館]

- ①大阪国際平和センター(ピースおおさか)
- ②大阪人権博物館(リパティおおさか)
- ③立命館大学国際平和ミュージアム

[調査者]

新垣 誠(沖縄県平和祈念資料館学芸主査)  
真栄平 房佳(沖縄県平和祈念資料館学芸主査)



大阪国際平和センター(ピースおおさか)

<東京都>

[期間] 平成25年3月5日(火)～3月7日(木)

[調査館]

- ①国立科学博物館
- ②遊就館
- ③昭和館
- ④しょうけい館
- ⑤平和祈念展示資料館
- ⑥ Wam 女たちの戦争と平和資料館

[調査事項]

- ①組織・運営体制について：設立経緯、施設概要
- ②子ども向け展示の工夫について
- ③教育普及活動について
- ④その他  
ア、琉球・沖縄関係資料等の有無について  
イ、展示方法や保存方法について

[調査者]

平良次子(沖縄県平和祈念資料館運営協議員)  
新垣 誠(沖縄県平和祈念資料館学芸主査)  
上地琢磨(沖縄県平和祈念資料館総務主任)  
新垣真弓(沖縄県平和祈念資料館嘱託学芸員)



昭和館



しょうけい館



Wam 女たちの戦争と平和資料館



### 3 第19回日本平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え、平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究を行うことにより、相互の連携を図りつつ平和推進事業の一層の発展を期することを目的とする。

〔開催期日〕平成24年11月8日（木）～11月9日（金）

〔開催場所〕

広島平和記念資料館

#### ①参加博物館

- ・広島平和記念資料館
- ・埼玉県平和資料館
- ・長崎原爆資料館
- ・神奈川県立地球市民かながわプラザ
- ・ひめゆり平和祈念資料館
- ・立命館大学国際平和ミュージアム
- ・ピースおおさか
- ・沖縄県平和祈念資料館
- ・滋賀県平和祈念館（オブザーバー参加）
- ・ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会（オブザーバー参加）



〔参加者〕呉屋 禮子（館長）、 功刀 弘之（主査）

#### ②協議題

- (1) 「10年後の日本平和博物館会議のあり方」について
- (2) 「定例会にオブザーバー参加を認める」について
- (3) 「加盟館の入館者状況の情報共有について」

③パネル展示「平和博物館を知ろう」：各加盟館の紹介パネル展示及び説明を行った。

④視察 被爆建物：レストハウス～原爆ドーム～旧日銀～袋町小学校～旧帝銀

## 4 証言映像の編集

沖縄住民の貴重な戦争証言を沖縄県平和祈念資料館情報ライブラリー等において活用するため戦争体験証言ビデオの収録と編集を行う。

[収録証言の内容]

15年戦争を生き抜いてきた方々の戦争体験や終戦後の生活の様子等

[平成24年度編集業務 対象・人数]

平成23年度に収録した与那国島出身者14名の戦争体験証言映像を編集し、映像を公開。

[活用]

- ①平和学習・研究
- ②第4展示室及び1階情報ライブラリー等において編集映像を公開
- ③編集映像の貸出
- ④映像資料として保管

### Ⅲ 展示企画事業

#### 1 常設展

##### (1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

##### 〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおして平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

##### 第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

##### 第2展示室「住民の見た沖縄戦―鉄の暴風―」

およそ3ヶ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

##### 第3展示室「住民の見た沖縄戦―地獄の戦場―」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ(自然の鍾乳洞)とそこで起こった出来事が造形物で再現される。

##### 第4展示室「住民の見た沖縄戦―証言―」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

##### ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

##### 第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定となっている。

## 〔未来を展望するゾーン〕

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが、積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

### 「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校の様子、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ(輪)についてメッセージを発信する。

### 「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

### 「わらびな（座）」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための情報ライブラリーが設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

## (2) 展示資料の充実等

- ①常設展示室2Fの殆ど全ての映像機器(LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー)とコントローラー、映像ディスク(LDディスクからDVDディスク)を刷新した。
- ②常設展示室2Fの1室と5室の年表パネルを刷新した。
- ③企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。

## 2 企画展

### (1) 第13回特別企画展

ウチナーンチュウ イクサユー ユー  
「沖縄人が見た戦世とアメリカ世」

#### ①場所・開催期間

沖縄県平和祈念資料館企画展示室：平成24年10月10日（水）～12月9日（日）

八重山平和祈念館第2展示室：平成25年1月18日（金）～2月24日（日）

#### ②趣旨

1945年、沖縄は20万人余の尊い生命と大切な文化遺産を失うこととなった。沖縄戦（沖縄での戦い）である。その沖縄戦から67年、復帰40年を迎える。年月と共に、悲惨な戦争の歴史的事実を風化させることなく、次の世代へ正しく継承し恒久平和の樹立に寄与しなければならない。今年度の特別企画展においては「戦中（戦世）・戦後（アメリカ世）」における実物資料や写真パネルの掲示、ビデオ上映を行う。沖縄人（ウチナーンチュウ）が見てきた、戦争中（イクサ世）から戦後もアメリカに支配され続けたアメリカ世において、戦争に向けての住民動員体制や戦争に取り込まれた住民、戦後における米国統治下の沖縄と、平和を求め立ち上がる沖縄人について掲示し、平和について考える機会とする。

#### ③展示内容

##### 【第Ⅰ部 戦世（イクサユー）の人々】

- ・戦世のはじまり
- ・沖縄戦前夜の沖縄人と軍隊
- ・沖縄人が見た沖縄戦（鉄の暴風・地獄の戦場）
- ・沖縄本島以外の沖縄人

##### 【第Ⅱ部 戦世（イクサユー）からアメリカ世（ユウ）へ】

- ・アメリカ世の沖縄人
- ・アメリカ世の生活
- ・立ち上がる沖縄人
- ・復興へ向けて
- ・復帰に向けて



#### ④観覧者数（14,648人）



観覧の様子



観覧の様子

## (2) 子ども・プロセス企画展

### 第1回「子どもたちが見た沖縄戦」

沖縄戦時に国民学校や中学校の生徒だった方々の体験を通して、沖縄戦の実相が理解できるようにする。沖縄戦の悲惨な状況の中を生き抜いた子どもたちに焦点をあてることで、来館した小中学生に関心を持ってもらい、戦争についてより深く考える機会とする。

〔期間〕平成24年6月13日（水）～7月16日（月）

〔内容〕

- ①沖縄戦の概要
- ②子どもたちが見た沖縄戦
  - ・避難行
  - ・鉄の暴風
  - ・学徒隊
  - ・ガマ
  - ・捕虜、收容所へ
- ③メッセージコーナー：子どもたちの平和のメッセージを壁面に展示

〔観覧者数〕10,738名



### 第2回「チャレンジ！夏休み自由研究 —沖縄戦について調べてみよう—」

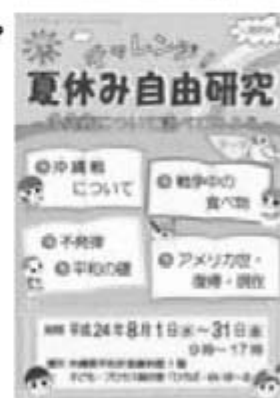
夏休みの機会に、子どもたちに沖縄戦に関心を持ってもらう企画として、夏休みの自由研究についてのヒントなどを紹介する展示を行う。情報ライブラリーと一体的に連携させて、資料館が日常的に活用できる場所であることの周知につとめる。

〔期間〕平成24年8月1日（水）～31日（金）

〔内容〕

- ①自由研究の進め方やテーマ選びのヒント
- ②研究テーマの紹介・解説
  - ・沖縄戦の概要
  - ・戦時中の食べ物
  - ・不発弾
  - ・平和の礎
  - ・復帰40周年（戦後の復興）
- ③自由研究のまとめ方（研究ノートや新聞）を紹介

〔観覧者数〕5,621名





### 第3回「太平洋戦争と学童疎開 ―ふるさとを遠くはなれて―」

子どもたちを保護するために実施されたといわれる県外への疎開であるが、その途上で多くの子どもが犠牲になった。子どもたちが体験した疎開生活に焦点をあてることで、来館した小中学生に関心を持ってもらう。

【期間】平成24年10月17日（水）～11月30日（金）

【内容】

- ①太平洋戦争の概要
  - ②全国の学童疎開
  - ③沖縄県の学童疎開
    - ・対馬丸の遭難
    - ・敗戦後の生活
- ・疎開先での暮らし
  - ・故郷への帰還

【観覧者数】12,707名



### 第4回「私たちにできること ―シャプラニール（沖縄平和賞受賞）の活動を中心に―」

世界では、戦争・紛争、貧困、差別など、人間の基本的権利を脅かす多くの問題が起こっている。世界各地で活動する国際協力団体について、シャプラニールを中心に紹介し、私たちに何ができるのかを考える機会とする。

【期間】平成24年12月10日（月）～1月31日（木）

【内容】

- ①いま、世界でなにが…（世界の現状を紹介）
- ②平和をつくる人びと（国際協力NGOの紹介）
- ③「シャプラニール＝市民による海外協力の会」の活動紹介
- ④私たちにできること（様々な取り組み方法を紹介）

【観覧者数】6,560名



## 第5回「子どもたちが学び・伝える沖縄本土復帰40周年」

沖縄の中学生の視点で復帰 40 年の沖縄を学び・まとめ・伝える新聞の掲示を通して、来館した学生や生徒・児童の関心を高め、平和や人権などの今日的な課題について深く考える機会としています。

展示新聞は琉球新報社主催の学校新聞コンクールから「琉球新報社長賞（1点）」「研究会会長賞（3点）」「島尻地区金賞（36点）」の合計40作品となっており、島尻地区金賞作品は、新聞それぞれのテーマ「沖縄の本土復帰」「沖縄戦」「基地問題」等に分けて展示しました。

多くの子ども達が平和学習や修学旅行等で訪れて熱心に見学し、感想や平和のメッセージを展示の最後にある「平和の木」に寄せていました。

また、今回の企画の新聞資料は、沖縄県中学校社会科教育研究会と琉球新報社さんから提供して頂きました。

### 〔期間〕

平成25年2月7日～平成25年5月24日

### 〔内容〕

- (1) 琉球新報社社長賞（1点）
- (2) 研究会会長賞（3点）
- (3) 島尻地区金賞（36点）
  - ① 沖縄の本土復帰
  - ② 沖縄戦
  - ③ 基地問題
  - ④ 沖縄の自然
  - ⑤ 沖縄の伝統文化
  - ⑥ 今日の沖縄
  - ⑦ 地域（海人の町糸満）
- (4) 平和の木



## IV 収集資料・活用事業

### 1 新収蔵品目録（平成24年4月1日～平成25年2月28日）

#### (1) 実物資料

5名の方から、15件39点の資料寄贈がありました。

NO	寄贈日	資料名	数	寄贈者
1	H24.5.7	日章旗	1	清水智江美
2	H24.5.14	弁当箱	1	松永光雄
		キセル	1	〃
		目薬容器	1	〃
		薬入れ	1	〃
		銃剣の鞘	1	〃
		お金（硬貨）	12	〃
		茶碗の破片	14	〃
		セッケン入れ	1	〃
3	H24.8.22	アメリカ軍認識票	1	仲座千人
4	H24.9.3	日章旗	1	神田政浩
5	H25.1.25	軍刀	1	石川正和
		傷痕軍人五訓	1	〃
		支那事変行賞 賜金国庫債券	1	〃

#### (2) 図書資料

5名の方から、444冊の図書資料寄贈がありました。これらは当館内の情報ライブラリーにて閲覧できます。

NO	寄贈日	資料名	数	寄贈者
1	H24.4.18	独立高射砲第二十七大隊戦闘詳報	1	二七会(会長 河北勇輔)
		写真集(独立高射砲第二十七大隊「一冊のアルバムから」)	1	〃
		三人の元日本兵と沖繩「私の中の沖繩」	1	〃
		逃げる兵「珊瑚礁の碑」	1	〃
		逃げる兵「高射砲は見ていた」	1	〃
		沖繩方面陸軍作戦	1	〃
		昭和の戦争	1	〃
		これが沖繩戦だ	1	〃
		沖繩・八十四日の戦い	1	〃
		最後の戦闘(沖繩・硫黄島戦記)	1	〃
		虐殺の島(皇軍と臣民の末路)	1	〃
		兵旅の賦-昭和編-	1	〃
		兵旅の賦-北部九州郷土部隊70年の足跡-	1	〃
		読谷村の戦跡めぐり	1	〃
		戦時記録下巻「読谷村史 第五巻資料編4」	1	〃
2	H24.6.5	オジイの海	425	菅井尚子(著者本人)
3	H24.6.23	「赤ん坊たちの<記憶>」	2	赤ん坊たちの<記憶>編集委員会
		1944年～1945年に生まれて		
4	H24.7.11	定本 沖繩戦 地上戦の実相	1	松下一彦(著者本人)
5	H24.12.11	沖繩戦体験記 特別号	1	宮城恒彦(著者本人)
6	H25.2.27	沖繩戦で最後に山を降りた日本兵	1	吉田真知子(著者本人)
		凡人の生きた証の記録 一隅に咲いた野花の一生		

### 2 資料貸出

(1) 写真パネル、実物、児童・生徒の平和メッセージ展パネル等の教育現場、公共機関等への貸出

資料館では、写真パネル(計201点)、沖繩戦実物資料(20種類)、児童・生徒の平和メッセージ展図画・作文・詩入選作品パネル、世界人権宣言絵画パネル一式(35枚一式)「沖繩戦の絵」複製パネル(52点)平和学習キット(4組8セット)等を貸し出しております。平成24年度は計45件、630の貸出をしました。

(県内)

	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	那覇市立城岳小学校	実物資料7点 平和学習キットB1点C1点	9	4/25～5/9
2	渡嘉敷村立阿波連小学校	平和学習キットC1点	1	4/30～5/13
3	私立海星小学校	平和学習キットB1点C1点	2	5/18～5/31
4	県立開邦高等学校	実物資料	5	6/1～6/26
5	県立那覇西校等学校	沖繩戦の絵	20	6/1～6/30
6	北谷町立北谷小学校	平和メッセージ14点 写真パネル6点	20	6/1～6/30
7	豊見城市立長嶺中学校	実物資料10点 沖繩戦の絵3点	13	6/2～7/1
8	那覇市立銘苅小学校	平和学習キットA1点D1点	2	6/2～6/15
9	豊見城市立とよみ小学校	平和学習キットB1点C1点	2	6/4～6/15
10	県立沖繩盲学校	実物資料7点 平和学習キットB1点	8	6/4～6/25

	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
11	県立向陽高等学校	写真パネル13点 実物資料4点	20	6/6～6/22
12	糸満市立中央図書館	沖縄戦の絵3点 沖繩戦の絵12点 沖繩戦の絵8点	20	6/7～6/26
13	学校法人アミークス国際学園	世界人権宣言12点	12	6/9～7/7
14	読谷村立古堅中学校	実物資料20点	20	6/11～6/22
15	本部町立博物館	沖繩戦の絵11点 世界人権宣言5点	16	6/18～7/2
16	沖縄・ベトナム友好協会	子供プロセス企画展使用展 写真パネル	30	7/2～7/16
17	南城市役所	写真パネル11点 平和メッセージ5点 実物資料3点 平和学習キットB1点	20	7/27～8/17
18	島尻地区中学校文化連盟	平和メッセージ(図画)2点	2	11/14～12/11
19	沖縄県中学校文化連盟	平和メッセージ(図画)2点	2	12/5～12/10
20	沖縄県環境生活部 平和・男女共同参画課	世界人権宣言22点	22	12/6～12/17
21	沖縄県中学校文化連盟	平和メッセージ(作文・詩)	22	12/7～12/10
22	那覇市真和志小学校	写真パネル18点	18	1/15～1/28
	小計		286	
	(県外)			
1	大阪国際平和センター	実物資料10点	10	4/1～3/31
2	情報産業労働組合連合会	写真パネル1点	1	4/25～5/8
3	新潟大学教育学部附属 長岡中学校	写真パネル16点 沖繩戦の絵4点	20	5/23～5/28
4	京都府城陽市役所	写真パネル18点	18	7/12～7/18
5	東京都多摩市役所	写真パネル10点	10	7/16～8/3
6	日本労働組合総連合会	写真パネル9点	15	7/17～7/25
7	千葉県連合会 山梨県山梨市立 厚狭図書館	沖繩戦の絵6点 写真パネル20点	20	7/19～8/21
8	愛知県豊山町役場	写真パネル20点 平和メッセージ9点	29	7/23～8/21
9	川崎市平和館	実物資料7点	7	7/24～9/7
10	連合秋田中央地域協議会	写真パネル15点 沖繩戦の絵5点	16	7/25～8/6
11	京都精華町役場	写真パネル8点	8	7/27～8/24
12	東京都港区役所	写真パネル20点	20	7/30～8/23
13	平和のための京都の戦争展 実行委員会	実物資料15点 写真パネル3点 沖繩戦の絵2点	20	7/31～8/6
14	埼玉県蕨市立下蕨公民館	写真パネル15点 沖繩戦の絵5点	20	8/1～8/31
15	非核・平和第34回空襲展 実行委員会(三重県)	沖繩戦の絵20点 平和学習キットA1点	21	8/1～8/24
16	日立市役所	平和学習キットB1点C1点	2	8/4～8/15
17	佐賀市役所	沖繩戦の絵16点 実物資料4点	20	8/7～8/14
18	平和のための戦争展 in 比企 実行委員会(埼玉県)	平和学習キットA1点C1点	2	8/8～8/15
19	静岡県島田市役所	写真パネル11点	11	8/10～8/21
20	埼玉県越谷市役所	写真パネル22点 沖繩戦の絵10点	32	10/19～11/2
21	世田谷平和美術展(東京都)	沖繩戦の絵20点	20	11/9～11/20
22	千葉県佐倉市役所	写真パネル20点	20	1/16～1/30
23	私立常翔学園中学校(大阪府)	平和学習キットB1点C1点	2	1/23～2/5
	計		344	

## (2) 証言映像の貸出

戦争体験証言ビデオや収容所生活等の映像資料で、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と平和の尊さを伝えることを目的に貸し出しを行っております。近年は修学旅行前の事前学習の教材として利用したいとの申し込みが学校現場より増えております。

### [概要]

貸出本数 合計47件120本

(県外31件 87本、県内16件 33本)

貸出ビデオ ①証言ビデオ28巻(原則として1本に3名分、計81名分の証言)  
②『やーさん ひーさん しかーさん 一集団疎開学童の証言』  
③『そして僕らは生き残った』

※貸出期間は原則として2週間以内、貸出本数は原則5本以内とする。



### 3 撮影・掲載等利用一覧

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
1	感動Factory 田中智香子	米軍記録写真(沖縄戦舞台「記念公演NUCHI」の最後に映像にて使用)	10	4/2
2	中日新聞 編集局社会部 栗田晃	米軍記録写真(中日新聞朝刊社会面・沖縄戦連載記事に掲載。4月下旬から8回連載)	30	4/5
3	中日新聞 編集局社会部 栗田晃	常設展示室ガマの写真「中日新聞朝刊社会面に掲載」	1	4/5
4	ホテル日航那覇グランド キャッスル 我那覇学	当館内修学旅行生の平和学習風景写真 教育旅行向けパンフレットに掲載	1	4/12
5	琉球新報社 玻名城泰山	米軍記録写真NO. 84 新聞掲載	1	4/10
6	NHKエデュケーショナル 新田義貴	体験者証言、ガマのジオラマ、見学者の撮影 NHK特集「テレビは沖縄をどう伝えてきたのか」	1	4/16
7	NHK沖縄放送局 秦秀人	常設展示室結びの文「復帰40年に関するニュースリポート制作」	1	4/20
8	(株)ベッセルホテル開 発 渋谷誠	資料館外観写真「ベッセルホテルカンパーナ沖縄 ホームページ内観光にて紹介用」	1	4/23
9	那覇市繁多川自治会 波平元維	米軍記録写真NO. 459,477,681,690 「地域記念誌に掲載」	4	4/25
10	ひめゆり平和祈念資料館 島袋淑子	米軍記録写真NO. 245 「ひめゆり平和祈念資料館出版 書籍への掲載」	1	5/4
11	筑波大学 柴田政子	当館総合案内p.34 方言札の写真 「学術雑誌の投稿論文に掲載」	1	5/10
12	戦争を伝える朗読会 小泉靖子	総合案内p.99 結びのことは「戦争を伝える朗読会のプロ グラムに掲載」	1	5/10
13	朝日学生新聞社 白石収	米軍記録写真NO. 85「朝日小学生新聞に掲載」	1	5/11
14	琉球新報社 吉田健一	米軍記録写真NO. 19,383,615,616,618,1114 新聞(未来に伝える沖縄戦)に掲載	6	5/15
15	(株)池宮商会 池宮城洋	具志川警防団連絡書類「達」米軍投降ピラ 第32軍集 合写真「沖縄県史 資料編23 沖縄戦日本軍資料に掲載」	13	5/21
16	Wamアクティブ・ミュ ージアム 池田恵理子	常設展示「慰安所の分布図のデータ」特別展パネルとカ タログに掲載使用	1	5/21
17	川崎市平和館 岡崎明生	米軍記録写真40点「川崎平和館特別展示会にて展示・広 報チラシ・ポスターに掲載」	40	5/22
18	スタジオジップ 岩永めぐみ	米軍記録写真NO. 90「書籍 入門太平洋戦争に掲載」	1	5/24
19	Wamアクティブ・ミュ ージアム 池田恵理子	米軍記録写真NO. 232,233,307「特別展のパネル・カタ ログに掲載」	3	5/25
20	琉球新報社 富田詢一	米軍記録写真12枚「琉球新報小学生新聞りゅうPON に掲載」	12	5/25
21	沖縄戦と慰安婦展実行委 員会 高里鈴代	米軍記録写真NO. 282「沖縄戦と慰安婦展にて使用」	1	5/27
22	NHKエデュケーショナル 日比美彦	野戦病院の写真「女たちの地上戦 番組放送にて使用」	1	5/28
23	朝日学生新聞社 白石収	米軍記録写真NO. 85「朝日小学生新聞教材版に掲載」	1	5/29
24	琉球朝日放送報道製作部 謝花尚	館内の撮影「中国人ジャーナリスト来館の様子撮影」	1	5/29
25	(株)クレヨンハウス 吉原美穂	平和メッセージ展2010年詩部門最優秀賞「変えてゆく」 「育児雑誌月刊クーヨン」に掲載	1	5/30
26	宜野湾市教育委員会 宮城茂雄	米軍記録写真12枚「慰霊の日に係る企画展にて使用」	12	5/31
27	沖縄タイムス社 具志堅学	図録イクサニューワラビ戦時下の教育と子どもたち「子 ども新聞ワラビーに掲載」	1	6/1
28	県立鏡が丘特別支援学校 仲尾武	児童・生徒メッセージ平成23年度詩部門各最優秀賞作 品「学習用教材資料に活用」	5	6/1
29	西原町立図書館 屋宜和子	児童生徒メッセージ展詩部門平成18年23年の作品 「図書館閲覧室にて展示のため」	3	6/1
30	日本放送協会ライツアーカ イブスセンター榎野英一	米軍記録写真NO. 137,545,557 「NHKアーカイブスライブラリーにて公開のため」	3	6/4
31	(株)南都 大城宗憲	米軍記録写真NO. 81「沖縄ワールド 王国歴史博物館 企画展示にて使用」	1	6/6
32	光文堂コミュニケーション ンズ株式会社 上原由華	米軍記録写真破壊された首里 「NHK沖縄放送局開局 70年記念放送史に掲載」	1	6/7
33	(株)RBCビジョン 後藤政司	常設展示室等館内の撮影「慰霊の日放送沖縄BONにて 放送」	1	6/8



番号	利用者名	資料名	点数	申請日
34	日本テレビ報道局 仲田竜馬	米軍記録写真NO. 282,289,299,307	4	6/11
35	(株)NHKエデュケー ショナル 蜂谷初人	常設展示室にて撮影「短歌 de 胸キュン にて放送」	1	6/11
36	日本放送協会沖縄放送局 秦秀人	沖縄戦の絵3点「NHK沖縄放送局史に掲載」	3	6/12
37	川崎市平和館 岡崎明生	米軍記録写真7枚「川崎市平和館特別企画展にて展示」	7	6/13
38	(株)アラカルトライツ 奥紀栄	資料館内外の撮影と米軍記録写真12枚「書籍 太平洋戦争と日本に掲載」	13	6/14
39	琉球新報社 国吉美千代	沖縄戦の絵 「琉球新報文化面 沖縄戦と心の傷に掲載」	1	6/14
40	中日新聞 栗田晃	米軍記録写真11枚「沖縄戦企画単行本に掲載」	11	6/15
41	日本テレビ報道局 仲田竜馬	米軍記録写真NO. 299「NEWS ZEROにて資料の放送」	1	6/16
42	早稲田大学 北村毅	沖縄県遺族連合会資料の閲覧 収蔵品目録掲載番号 85,86,176,232,266,285,337,452	8	6/19
43	朝日新聞社 清水大輔	米軍記録写真6枚「朝日新聞に掲載」	6	6/19
44	県立博物館・美術館 白保台一	石川収容所と高等弁務官の写真、戦後の人口年齢構成、米軍支配の流れ「特別展にて使用」	4	6/21
45	沖縄タイムス社 古謝克公	慰霊の日常設展示室内の撮影	1	6/23
46	明治大学川島ゼミナール 宮城太一	常設展示室内「ドキュメンタリー取材、明治大学祭にて上映」	1	6/23
47	NHK沖縄放送局 屋良歩	平和メッセージ展作品「NEWSおきなわ610にて放送」	1	6/25
48	NHK沖縄放送局 西銘むつみ	企画展「絵本が語りつぐ戦世」の撮影	1	6/27
49	衆議院議員 横路孝弘	第22回児童・生徒の平和メッセージ詩部門最優秀賞「礎に思いを重ねて」「よこみち孝弘ホームページに掲載」	1	6/28
50	喜屋武字誌編集委員会 伊礼幸徳	B円の写真「喜屋武字誌に掲載」	1	7/3
51	月刊イオ 琴基徹	米軍記録写真NO. 19,39,140,142「月刊イオ8月号に掲載」	4	7/3
52	被爆者歌う会ひまわり 寺井一通	児童・生徒の平和メッセージ展詩部門最優秀賞「礎に思いを重ねて」「詩に曲をつけてCDを作成」	1	7/3
53	全日本民主医療機関連合 会 長瀬文雄	米軍記録写真4枚「民医連新聞第1528号に掲載」	4	7/4
54	(株)MAP&NEWS. net 飯野正仁	資料館の内観、外観「NTTドコモスマートフォンアプリご当地ガイドに使用」	1	7/4
55	フリーランス 原義和	米軍記録写真13枚「沖縄テレビドキュメント九州にて放送使用」	13	7/6
56	感動Factory 田中智香子	米軍記録写真NO. 132,224「舞台公演NUCHIにて上映使用及びDVD作成使用」	2	7/11
57	(株)クオリアート 櫛田英俊	資料館の外観写真「PEACE CREATOR内世界の平和ミュージアムにて紹介」	1	7/13
58	(株)エディターズ 上原哲郎	資料館内の撮影「マッフルマガジンまっふる沖縄2013年版南部エリアに掲載」	1	7/20
59	東京都立川市図書館 小宮山克仁	第22回児童・生徒の平和メッセージ詩部門最優秀賞「礎に思いを重ねて」「立川図書館にて展示使用」	1	7/24
60	聖教新聞沖縄支社 山口敬祐	常設展示室内写真撮影「聖教新聞に掲載」	1	7/26
61	(株)乃村工芸社 鞠子猛	資料館外観と常設展示室内写真撮影「乃村工芸社120周年詩に当時の実績として掲載」	3	7/30
62	沖縄県立博物館・美術館 白保台一	常設展示室展示データ及び写真「復帰40年記念博物館特別展にて使用」	4	8/8
63	越谷市総務部総務管理課 藤浪均史	米軍記録写真NO. 303,353「こしがや平和フォーラム2012のポスター及びチラシに掲載」	2	8/16
64	NHKインターナショナル 上野智之	児童・生徒の平和メッセージ展の様子及び作品の撮影「JICA研修員制作の普及啓発ビデオ」	1	8/16
65	NHKインターナショナル 上野智之	常設展示室内の撮影「JICA研修員制作の普及啓発ビデオ」	4	8/16
66	バリアフリーネットワ ーク会議 親川修	資料館の写真「バリアフリー観光ガイド そらくる沖縄vol.6に掲載」	1	11/16
67	琉球新報社 池田龍矢	米軍記録写真(艦砲射撃)「未来に伝える沖縄戦に掲載」	1	8/21



番号	利用者名	資料名	点数	申請日
68	県知事公室地域安全政策課 堀川恭宏	B円軍票の写真「沖縄県地域安全政策課HPに掲載」	1	8/21
69	サンマリーナホテル 大城知美	資料館外観写真「サンマリーナホテル修学旅行パンフレットに掲載」	4	8/23
70	琉球新報社 仲宗根祐希	総合案内掲載絶対国防圏を示した図「琉球新報教育面に掲載」	1	8/24
71	東京書籍株式会社 川端慈範	常設展示中の日本製手榴弾写真撮影「高校1年生用教科書の小説教材 新編国語総合・精選国語総合に掲載」	1	8/24
72	沖縄ロケ株式会社 大橋しょうじ	常設展示室及び資料館内に撮影「国土交通省観光庁 普遍的な日本の魅力映像作成事業」	1	9/6
73	(株) どう出版 千葉由利枝	米軍記録写真NO. 205,230,240「季刊誌道 10月号に掲載」	3	9/19
74	琉球新報社 仲宗根祐希	米軍記録写真NO. 39「琉球新報教育面 琉球・沖縄史へのまなざしに掲載」	1	9/21
75	ひめゆり平和祈念資料館 島袋淑子	米軍記録写真NO. 238,246,247,307,730,731「企画展生き残ったひめゆり学徒たちにて展示使用」	6	9/26
76	NHK沖縄放送局 新垣裕美子	資料館内の撮影「ニュースおきなわ610にて放送」	1	10/2
77	琉球新報社 仲宗根祐希	総合案内 p125 NO. 156 の写真「琉球新報教育面 琉球・沖縄史へのまなざしに掲載」	1	10/9
78	(株) 碧水社 清水淳郎	米軍記録写真NO. 269「雑誌 日本の城8号に掲載」	1	10/9
79	あやはべるの会 佐々木薫	第22回児童・生徒の平和メッセージ詩部門最優秀賞「礎に思いを重ねて」2012年沖縄女性詩人アンソロジー・あやはべるに掲載	1	10/10
80	朝日学生新聞社 堀裕樹	米軍記録写真NO. 85「時事ニュース冊子に掲載」	1	10/24
81	ひめゆり平和祈念資料館 島袋淑子	米軍記録写真NO. 307「企画展証言ビデオ・生き残ったひめゆり学徒たちに使用」	11	10/26
82	株式会社極東电视台 平内裕子	米軍記録写真NO. 771「テレビ東京 そうだ旅に行こうにて掲載使用」	1	11/5
83	オフィス・ゆう 吉田忠正	米軍記録写真NO. 371,234「ポプラ社刊歴史新聞第9巻に掲載」	2	11/9
84	群馬県館林市役所 安楽岡一雄	米軍記録写真NO. 251「中学生による平和のための作文集に掲載」	1	11/15
85	沖縄県平和祈念財団 新垣雄久	沖縄県平和祈念資料館英語版パンフレットのデータ「沖縄県平和祈念財団webページに掲載」	1	11/22
86	株式会社 沖縄映像 玉城淳博	施設外観、常設展示室全体「琉球新報 未来に伝える沖縄戦に掲載」	1	11/30
87	沖縄国際大学 島山淳	国際通り商店街(1マイル)北側連続写真「大学院生修士論文作成のための調査」	1	12/14
88	八尾市教育委員会 福嶋英夫	「平和への証言 - 戦争体験者が語る戦争 -」第3展示室gamma内の写真「人権学習教材に掲載」	5	12/14
88	株式会社童夢 児玉俊子	米軍記録写真NO. 086「平和を考えよう(あかね書房刊)に掲載」	1	12/18
89	広沢編集事務所 広沢大之助	常設展示室 gamma内の写真「日本の地理第1巻九州」沖縄県の特集「沖縄戦とひめゆり学徒」に掲載	2	12/18
90	琉球新報社 富田詢一	米軍記録写真NO. 302、295、247「琉球新報に掲載」	3	12/19
91	東京書籍株式会社 川畑慈範	米軍記録写真NO. 224, 227, 443, 1224, モンペと手榴弾の写真「高等学校デジタル教科書 国語総合に掲載」	6	12/20
92	佐賀県人権センター 末松史彦	資料館外観写真「年間じんけんニュースに掲載」	1	12/26
93	長野県佐久市教育委員会 土屋盛夫	常設展示室第3室gammaの写真「広報佐久別冊に掲載」	1	12/28
94	宮里勝二	総合案内 p 125 NO. 151 電話交換手の写真	1	1/23
95	合同会社レノズ 岩田弘史	米軍記録写真NO. 011,031,0371 NHK番組「旅のチカラ宮沢和史編」にて使用	3	1/24
96	沖縄県平和祈念財団 新垣雄久	沖縄県平和祈念資料館英語版ホームページデータ「平和公園webページに掲載」	1	1/25
97	浦添市立図書館 名護正輝	朝鮮釜山引揚者芳名簿、海外旅券、身分証明書他計15点「浦添市移民史ビジュアル版に掲載」	15	2/15
98	対馬丸記念会 高良政勝	米軍記録写真NO. 019,132,226,227,233,269,371 鉄かぶと、水筒写真「対馬丸記念館ワークブックに掲載」	9	3/2
			361点	

## V 教育普及事業

### 1 教育普及行事

#### (1) 第22回児童・生徒の平和メッセージ展

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえのない文化遺産を失った。戦後、67年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とする。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とする。



① 応募総数 (4,453点) 図画2,315点 作文351点  
詩 1,038点

② 平成24年度沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者  
県立首里高等学校3年 金城 美奈 「礎に思いを重ねて」

#### ③ 県内5会場にて展示会の実施

・沖縄県平和祈念資料館 2階海と礎の回廊	期間：6月23日～7月6日
・八重山平和祈念館 第2展示室	期間：7月12日～7月22日
・名護博物館	期間：8月1日～8月6日
・うるま市立石川歴史民俗資料館	期間：8月7日～8月12日
・沖縄県庁 1階県民ホール	期間：8月20日～8月24日

#### ④ 表彰式

[日時] 8月20日 午前11時～正午 沖縄県庁 1階県民ホール



慰靈の日に平和の時を読み上げる金城美奈さん



平和祈念資料館でのオープニング



上原副知事より表彰状の授与



上原副知事、大城教育長と受賞した児童生徒

## 第22回 「児童・生徒の平和メッセージ」入選者一覧(優良賞以上)

### ■図画の部入選者

### ■作文の部入選者

### ■詩の部入選者

小学校(低)の部(4名)			小学校(低)の部(3名)			小学校(低)の部(3名)		
最優秀賞	世持 結生	(白保小2年)	最優秀賞	田島 菜瑚	(大謝名小2年)	最優秀賞	上地 亜利佐	(白保小1年)
優秀賞	南風原 駿	(匿名審小3年)	優秀賞	大城 朝範	(与那国小3年)	優秀賞	嘉納 李子	(読谷小3年)
優良賞	山内 翔太	(読谷次小2年)	優良賞	金城 舞香	(真栄小3年)	優良賞	大島 美海	(白保小1年)
	上原 花穂	(大木小3年)						
小学校(高)の部(9名)			小学校(高)の部(8名)			小学校(高)の部(9名)		
最優秀賞	田代 涼乃	(高良小6年)	最優秀賞	米須 帆陸	(北玉小4年)	最優秀賞	田代 涼乃	(高良小6年)
優秀賞	崎間 恒次郎	(百名小5年)	優秀賞	名嘉 和音	(豊見城小6年)	優秀賞	竹富 花	(とよみ小5年)
	西平 百花	(神楽小6年)		喜納 そら	(上田小6年)		喜屋武 大海	(北玉小4年)
優良賞	宮城 心愛	(伊良波小4年)	優良賞	国吉 涼風	(光洋小6年)	優良賞	友利 拓誠	(上田小6年)
	友利 花音	(豊崎小5年)		喜入 凜莉子	(光洋小6年)		我如古 友南	(白川小4年)
	濱崎 都南	(伊良波小6年)		奥村 琉奈	(光洋小6年)		内間 誉	(日暮小6年)
	仲尾 和香奈	(当山小6年)		仲地 聖羅	(北玉小4年)		高畑 寛子	(真和志小6年)
	官平 穂希	(鹿間味小6年)		金城 優輔	(上田小6年)		新城 百音	(曙小5年)
	宮里 うらら	(鹿間味小6年)					崎原 日菜子	(北玉小4年)
中学校の部(10名)			中学校の部(10名)			中学校の部(12名)		
最優秀賞	下地 深青	(久松中3年)	最優秀賞	上原 晴美	(神編尚学中2年)	最優秀賞	照屋 希之薫	(瀬平中2年)
優秀賞	大城 芽唯	(具志川中3年)	優秀賞	宮里 瑞姫	(鹿間味中2年)	優秀賞	比屋根 憲太	(大原中3年)
	城間 鈴惟	(大原中3年)		官平 美海	(鹿間味中3年)		玉城 亜梨紗	(瀬平中3年)
優良賞	仲宗根 沙也	(平良中1年)	優良賞	林 遼太郎	(神編尚学中2年)	優良賞	呉屋 鳳輝	(龍原中3年)
	平良 麻陽	(与那原中2年)		インマン・セイラ	(豊城中3年)		大城 さくら	(鹿間味中3年)
	石川 南々帆	(知念中2年)		盛根 芽生子	(佐敷中2年)		我如古 友香	(東風平中1年)
	仲宗根 しずく	(宮原中3年)		竹島 伸	(鹿間味中3年)		山田 萌	(名護中2年)
	西永 彩七	(瀬平中3年)		喜屋武 利温	(鹿間味中1年)		平良 匠	(読谷中3年)
	島袋 清香	(具志川中3年)		山代 萌	(神編尚学中1年)		新里 亜由美	(高嶺中3年)
	平安名 流華	(具志川中3年)		ジェニース 高野アジエラ	(アメリカン中3年)		前迎 義広	(読谷間中1年)
							伊禮 仁	(仲西中2年)
				桃原 優	(西原東中3年)			
高等学校の部(7名)			高等学校の部(11名)			高等学校の部(11名)		
最優秀賞	稲嶺 菜瑚	(首里高2年)	最優秀賞	山口 かれん	(開邦高3年)	最優秀賞	金城 美奈	(首里高3年)
優秀賞	稲福 彩	(浦添工業高2年)	優秀賞	大城 さゆり	(開邦高3年)	優秀賞	津嘉山 元	(浦添工業高1年)
	外間 花怜	(那覇高2年)		大城 沙耶	(開邦高3年)		嘉数 夕海	(普天間高3年)
優良賞	東風平 真子	(那覇高1年)	優良賞	外間 咲帆	(前原高3年)	優良賞	渡具知 萌絵	(開邦高3年)
	稲福 美咲	(普天間高2年)		我那覇 結女	(前原高3年)		兼城 歩生	(前原高3年)
	小嶺 萌々子	(首里高3年)		玉城 ちひろ	(開邦高3年)		新垣 楓	(那覇西高1年)
	上原 ゆりあ	(糸岡高3年)		比嘉 将之	(開邦高2年)		安里 美咲	(前原高3年)
			西野 僚真	(前原高3年)	玉城 愛	(前原高3年)		
			小橋川 文乃	(開邦高1年)	櫻原 彩	(北中城高3年)		
			島袋 貴仁	(前原高3年)	兼元 唯之	(那覇西高1年)		
			町田 あさひ	(前原高3年)	尾崎 夏美	(浦添商業高3年)		
特別支援の部(3名)			特別支援の部(1名)			特別支援の部(3名)		
最優秀賞	玉城 空良	(北丘小3年)	優秀賞	當山 優衣	(宜野湾中1年)	最優秀賞	豊里 凜	(北玉小4年)
優秀賞	宮城 里奈	(中原小6年)			優秀賞	玉城 幸和	(名護特支中2年)	
優良賞	徳元 佑気	(高嶺小6年)			優良賞	玉城 千秋	(名護特支中2年)	

## (2) 親子ビデオ上映会

### ① 子供の日ビデオ上映会

児童福祉週間関連事業の一環として、児童生徒の観覧料無料に合わせて沖縄戦関連のビデオ上映を行い、親子で平和について考える機会とする。

〔日時〕平成24年5月5日(土)午後1時30分～午後4時

〔上映ビデオ〕

- 「100番目のサル」(20分)
- 「石の声 ～沖縄戦マラリア地獄の記憶～」(24分)
- 「煙突屋 ペロー」(23分)
- 「ちいちゃんのかげおくり」(17分)
- 「もう一つの沖縄戦紀」(31分)
- 「やーさん ひーさん しからーさん」【ダイジェスト版】(19分)

〔参加者数〕延べ124名

### ② 慰霊の日 沖縄戦関連ビデオ上映会

「慰霊の日」関連事業の一環として、観覧無料に合わせて沖縄戦・人権関係のビデオ上映を行い、平和や人権について考えると同時に、資料館への理解を深めてもらう機会とする。

〔日時〕平成24年6月23日(土)午後2時～午後4時30分

〔上映ビデオ〕

- 「ドキュメント沖縄戦」(57分)
- 「戦場ぬ童」(26分)
- 「沖縄戦の証言」(35分)
- 「軍隊がいた島～慶良間の証言～」(38分)

〔参加者数〕延べ360人

### ③ 夏休みアニメ上映会(平和祈念ホール)

アニメ作品等の鑑賞を通して、平和と人権について考える。

〔日時〕平成24年8月11日(土)・12日(日)午後2時～午後4時

〔上映作品〕

8月11日(土) 午後2時～午後4時

- 「石の声」(24分)
- 「対馬丸」(75分)

8月12日(日) 午後2時～午後4時

- 「やーさん ひーさん しからーさん ダイジェスト版」(19分)
- 「カンカラ三線」(78分)

〔参加者数〕二日間 延べ132名

## (3) 夏休み子ども向け企画

### ① 夏休み自由研究相談室(情報ライブラリー)

〔期間〕平成24年7月21日(土)～8月31日(金)午前9時～午後5時

〔内容〕自由研究の進め方や疑問点などについて、助言・説明する。

〔相談者数〕44名

### ② 夏休み子ども教室「クイズラリーと研究ノートづくり」(情報ライブラリー)

〔期間〕平成24年8月18日(土)午後1時30分～4時

〔内容〕クイズを通して沖縄戦や戦時下の暮らしを学ぶ。

用意した研究シートを使って自由研究ノートづくりを行う。

〔参加者数〕24名

### ③ 親子平和学習ツアー

平和祈念資料館と平和祈念公園内にある戦跡や慰霊碑などを見学して沖縄戦について学習した。今回は南冥の塔、沖縄師範健児之塔、平和の礎を巡り親子で平和の大切さについて学んだ。

[日時] 平成24年8月11日(土) 午前10時～正午

[参加者数]32名

[コース]

- 韓国人慰霊塔
- 沖縄工業健児の塔
- 黎明之塔
- 第32軍司令部壕
- 島守の塔
- 健児の塔



## 2 教育機関との連携

### (1) 平和講話

設立理念にもある沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与するというを具体化したものに県内の小中高校等学校、特別支援学校に対する平和学習支援がある。平和学習等で常設展示を見学に来る児童生徒に対して観覧前に学芸員が行うオリエンテーション的な平和講話を実施している。時間は50分程度で、

内容は沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや沖縄戦の経緯、常設展示の見所、平和のために何ができるか等を考えさせるものとなっています。



祈念ホールでの平和講話の様子

[平成24年度 平和講話実施状況] 総計124校(11,894名)

- ・ 保育園0園(0名) ・ 小学校101校(8,438名) ・ 中学校12校(2,128名)
- ・ 高等学校4校(959名) ・ 特別支援学校4校(222名) ・ 専門学校2校(110名)
- ・ 国立沖縄百少年の家(37名)



## (2) 博物館学芸員実習

当館では、県内外の大学の要望に応じて、当館学芸員の指導により学芸員資格取得のための学芸業務（資料収集・保存活動、展示活動、教育普及活動）全般に係わる研修を実施し、学芸員としての自覚の醸成と基礎的知識や技能を習得する機会を提供した。

### 〔期間〕

平成 24 年 8 月 15 日（木）～8 月 23 日（木）金日を除く（7 日間）

### 〔内容〕

- ① 資料整理・分類・登録
- ② 展示準備・企画展への参加
- ③ 野外実習（近隣の戦跡、類似館の見学）
- ④ 調査研究
- ⑤ 教育普及（平和講話資料作成）

### 〔実習生〕

沖縄国際大学 1 名



実習（展示物撤収作業）の様子

## (3) 児童・生徒の職場体験（インターンシップ）

児童の望ましい職業観・勤労観を育むため当資料館では平成 24 年度に 5 名の小学生を職場見学実習として、また、インターンシップとして県立 3 校の高校生を 8 名を受け入れました。

高校生を受け入れる事により、資料館職員も若い感性と触れ合うことができ、また職員全員で生徒達を見守る事で職場の明るい雰囲気および資料館の活性化につながりました。

インターンシップを体験した生徒の皆さんそれぞれが、自分の個性を発揮し、将来地域のために活躍できる人になって欲しいと願っています。

### 〔学校名・人数・期間〕

- ①糸満市立高嶺小学校（2 名） 6 月 21 日（木）
- ②豊見城市立上田小学校（2 名） 7 月 12 日（木）
- ③県立沖縄水産高等学校（2 名） 10 月 16 日（火）～18 日（木）
- ④県立糸満高等学校（3 名） 11 月 14 日（水）～16 日（金）
- ⑤県立向陽高等学校（3 名） 12 月 5 日（水）～7 日（金）



収蔵庫の管理を手伝う上田小児童



受付業務をする向陽高校生

### 3 講座・講習会・研修会

#### (1) 沖縄戦講座

日時：平成24年12月4日（火）午後2時～4時30分

場所：沖縄県平和祈念資料館 2階会議室

講師：鳥山淳氏（沖縄国際大学准教授）

演題：「占領下の復興を考える」

受講者：50名



ウチナーンチュ  
平成24年度特別企画展「沖縄人が見た  
イグサユエ 戦世とアメリカ世」（平成24年10月10日～  
12月9日）の期間中に関連催事として沖縄戦講座を  
開催しました。

米軍占領下の1968年の復帰前、日米政府間で沖縄の施政権返還に向けた交渉が本格化していた時期の沖縄に焦点を当て、基地撤去を含む「無条件全面返還論」と、それに対して基地が無くなると戦前のように芋を食い、裸足で歩く生活に逆戻りすると主張する「イモ・ハダシ論」と絡ませながら講話をして頂きました。

現代もなお基地問題を抱え続ける沖縄において、普天間基地移設を含め、ジレンマの原点となる復帰前の時代を今一度見つめることを通して、これからの沖縄の姿を考えさせる講座となりました。

#### (2) 沖縄県平和祈念資料館講習会

当館への案内業務に携わっている旅行・観光等の関係機関に携わる方々に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容等について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に講習会を実施しました。

〈日時〉平成25年2月14日（水）13:00～16:10

〈場所〉沖縄県平和祈念資料館 会議室

〈対象〉タクシー乗務員・バスガイド・ボランティア・観光等関係者

〈講習内容〉平和祈念公園及び資料館施設説明・展示内容・沖縄戦の特徴

〈受講者〉32名



#### (3) 高校、特別支援、養護、幼稚園初任教諭の初任者研修

県立高校において本年度新採用された教諭を対象とする初任者研修。沖縄の歴史と文化をはじめ、沖縄戦の概要、資料館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容等について理解・認識を深めてもらい、教育現場で大いに活用してもらうために沖縄県立総合教育センターが主催。

〔日時〕平成24年8月15日（水）

午前9時半～午後4時

〔場所〕沖縄県平和祈念資料館 1階祈念ホール

〔受講者〕202名

〔講義〕①沖縄の歴史と世界遺産、県の平和推進事業

②沖縄戦と戦後復興





**(4) 島尻地区小中教職員 10 年経験者研修会**

教諭、助教諭及び講師としての在職期間が在職期間が 10 年に達した者に対して、個々の能力、適性等に応じて研修を実施し、教諭等としての資質の向上を図ることを目的とした「10 年経験者研修」がある。今回、島尻地区の 10 年目を迎える先生方が当館で研修を行った。参観だけでなく、当館の利用の仕方について講話を行った。



〔日時〕 平成 24 年 8 月 3 日（金）午前 11 時～午後 12 時

〔受講者〕 島尻管内市町村指導主事含め 35 名

〔講義〕 平和祈念資料館の活用について

**(5) 沖縄県新規職員採用後後期研修者への講義**

沖縄県の新規採用職員を対象に県職員としての教養や資質の向上のための、沖縄県自治研究所が主催する研修会。多くの県職員に対して当館の県立機関としての存在意義を広く周知するために新採用職員を対象に沖縄戦の概要や資料館の働き等について理解してもらう講師を派遣した。

〔日時〕平成 24 年 10 月 2 日（火）・16 日（火）14 時 40 分～16 時 00 分

〔場所〕 沖縄県自治研修所

〔受講者〕 97 名

## VI 広報活動

### 1 県外修学旅行誘致活動

沖縄の修学旅行の魅力をもっとPRするとともに、相互の情報・意見等を交換する場として、沖縄県及び(財)沖縄観光コンベンションビューローが主催した県外各地での沖縄修学旅行説明会へ参加した。その中で「沖縄で平和を考える」と題し、職員がプレゼンテーションを行った。

#### (1) 沖縄修学旅行説明会

##### (ア) 東京都【真栄平主査参加】

[日程]平成24年12月11日(火)

[参加団体数]学校：50校65名 旅行社：33社45名

##### (イ) 茨城県【真栄平主査参加】

[日程]平成24年度12月12日(水)

[参加団体数]学校：6校7名 旅行社：22社28名

##### (ウ) 長野県【真栄平主査参加】

[日程]平成24年12月13日(木)

[参加団体数]学校：4校5名 旅行社：11社23名



長野県会場の様子

### 2 2012JICA国際協力・交流フェスティバル

#### 「沖縄県平和祈念資料館事業展」＋「沖縄・カンボジア平和博物館協力事業」の紹介

平和祈念資料館は、「世界の人々に平和を希求する私たちの心を訴え、世界の恒久平和の樹立に寄与する」という設立理念のもと国際協力活動も行っている。JICA沖縄国際センターにおいて沖縄県平和祈念資料館から発信される国際協力・交流の成果を発表した。

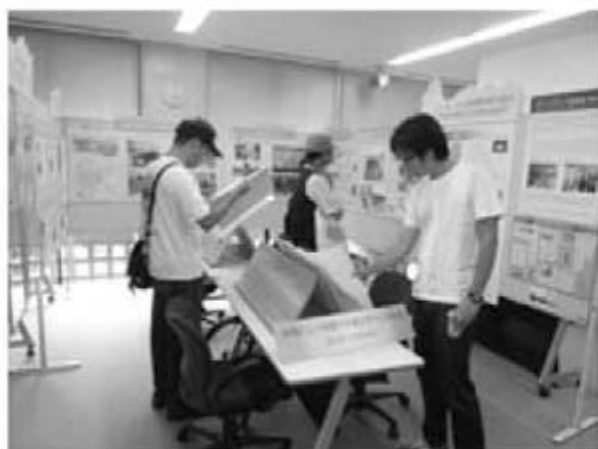
[日時] 平成24年11月10日(土)～11日(日) 午前9:00～午後6:00

[場所] JICA沖縄国際センター本館2階(201室)

[入場者数] 4,469人(フェスティバル全体の数)

[成果]

今年度は、沖縄戦を含め平和祈念資料館の事業概要及び沖縄・カンボジア平和博物館協力事業の展示も行った。特にカンボジアトゥール・スレン虐殺博物館から提供のあったS21における収容者の顔写真、プロフィールや国内では初めてとなる強要された自白書などを公開することができ、数多くの皆さんに当館の事業やカンボジアの歴史についても理解していただく機会となった。



展示会場の風景

### 3 刊行物

○『沖縄県平和祈念資料館年報 第12号』

平成24年度の当館事業の実績報告に関わる行政資料、入館者の概要、事業内容や活動内容等をまとめるA4版76頁、500部を5月に刊行。

○『沖縄県平和祈念資料館だより』No.23, 24 平成24年度の資料館事業報告や事業計画等

について周知させる広報誌。資料館だよりは今年度23号、24号をそれぞれ8月15日と3月25日にA4版8頁、各2,500部発行し、県内関係機関に配布し当館事業への御理解と御協力を図っている。

○『沖縄人が見た戦世とアメリカ世』特別企画展の展示図録。A4版60頁、1,000部を

10月10日に刊行。

○『第22回児童・生徒の平和メッセージ展実施報告書』

第22回の児童・生徒の平和メッセージ展に関わる実績報告書。展示会の模様、募集要項、図画・作文・詩の最優秀・優秀作品入選作品等が掲載される。A4版74頁、1,000部を10月30日に刊行。



「沖縄県平和祈念資料館だより No.23号」



「沖縄県平和祈念資料館年報第12号」



「沖縄人が見た戦争とアメリカ」



「第22回児童・生徒の平和メッセージ展実施報告書」

## VII その他の事業

### 1 復帰40周年「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」

当館では、これまでも年間20名程の戦争体験記録の収集・発信等に努めてきた。しかし、戦後67年が経過し、当時中学生であった方々も80歳を超えてきており、貴重な体験の喪失が危惧されていることから、復帰40周年記念事業の一つとして「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」を実施している。この事業は、大きくわけて二つの事業から構成されている。一つは、これまで当館が行ってきた戦争体験者の証言を業者が収録・編集する「戦争体験証言収録事業」の拡大版で今までに収録が少なかった地域（①中部・宮古地区 ②南洋諸島で太平洋戦争を経験した沖縄県関係者 ③沖縄戦を経験し、現在、関東・関西・九州に居住する沖縄県関係者など）を中心に証言者を選定し、50件の収録を終えた。（編集は、平成25年度予定）もう一つの「家族に語り継ぐ平和のウミイ事業」は、県民参加型の取組で、県民自らが、祖父母や父母の戦争体験を子や孫に語る様子を撮影し応募するというものである。県民の関心も高く、去った2月に300件の応募が集まり、平成24年度でその内容を編集し、本事業に協力していただいた方にDVDにして贈呈した。

本事業を来午継続して実施し、集められた沖縄戦の歴史的教訓を記録に残し、発信することで、証言者の子や孫、そして、戦争を知らない次世代に平和の尊さを引き継いでいけるようにしていきたいと考えている。



家族に語り継ぐ様子（玉城さん一家）

### 2 「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業プロジェクト

〔期間〕 平成24年度から平成26年度

〔内容〕

JICA が提供する草の根技術協力（地域提案型）事業。平成21年度から平成23年度まで当館の設置理念に基づいて実施された、沖縄・カンボジア「平和博物館」協力事業の成果を踏まえた事業である。今回の事業は、カンボジア文化芸術省が所管する2つの博物館（カンボジア国立博物館・国立トゥール・スレン虐殺博物館（TSGM））を対象に沖縄県立博物館・美術館を主管として、本館をふくめて、前回より内容を深めたアドバンスの内容を加味し、「平和文化」の発信拠点として、市民や県民や国民から親しまれる博物館づくりをおこなうために実施している。

○初年度本研修（カンボジア国立博物館・TSGM 職員が沖縄で研修）

〔期間〕平成24年10月11日（木）～11月9日（金）

〔研修者〕Mr.Hor Kosal（コサル）国立博物館資料課副課長

Ms.Oun Sokuntheavy（ソクンテウイ）国立博物館教育課副課長

Ms.Sdan Samrith Pisey（ピセイ）TSGM 資料課資料係

Mr.Kco Lundi（ランデー）TSGM 教務部ガイド係

○フォローアップ研修（カンボジアへの当館職員の派遣）

〔期間〕平成25年2月14日（木）～2月23日（土）

〔研修指導者〕宮城哲夫学芸主査（沖縄県平和祈念資料館）

○「平和文化」創造の取組事例紹介 「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」

〔開催期日〕平成25年2月20日（水）

〔開催場所〕カンボジア国立博物館2階会議室

ソコンティヴィ研修員のワークノート作成のワークショップの前に、沖縄からの「平和文化」創造の取組み事例として、沖縄県平和祈念資料館が現在取り組んでいる「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」を紹介した。同事業は沖縄戦の戦争体験を風化することなく、世代を越えて継承する目的で、平成24年度より実施している事業である。その意義については多くの参加者（国立芸術大学学生40名をはじめ芸大の先生方、NGO 団体など60名が参加）の共感を得た。



子や孫につなぐ平和のウミイ事業の報告（カンボジア国立博物館にて）

### 3 沖縄・カンボジア「平和博物館」協力事業成果展

#### 【場所・期間】

沖縄県平和祈念資料館 企画展示室

平成25年2月4日（月）～平成25年3月24日（日）

沖縄県平和祈念資料館は、国籍や軍人・民間人の区別なくすべての戦没者の名を刻んだ「平和の礎」と一体になって平和を何よりも大切にする「沖縄のこころ」を発信し、世界の恒久平和に寄与する拠点施設としての活動に努めている。

その活動の一つとして、2009年度から2011年度の期間にJICAの草の根技術協力（地域提案型）「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業を実施した。カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館が、戦争などの惨禍を人々に伝え、平和の実現に資する活動、つまり、「平和博物館」活動を展開していくために、沖縄県平和祈念資料館が、長年培ってきた活動のノウハウを共有するためのプログラムである。

最終年度には、3年間の本プロジェクトの集大成として沖縄県平和祈念資料館とカンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館の合同企画展「2つの平和博物館の『平和博物館創造』」を2012年3月7日（水）から3ヶ月間、トゥール・スレン虐殺博物館で開催した。今回、その合同企画展の一部を紹介した。

【展示構成】第1部「トゥール・スレン虐殺博物館の紹介」、第2部「収容者の写真とプロフィール・強要された自白書」、第3部「本事業の研修内容と目的、成果」、

第4部「平和な世界へ」（沖縄・カンボジアの生徒の作品展示）（絵）



成果展観覧の様子



#### 4 「絵本が語りつぐ戦世（イクサユー）」

〔目的〕 沖縄戦体験者が年々減少していく中、戦争を語り継いでいくことが急務となっている。そこで、敢えて沖縄戦に関する絵本の絵のみを展示することで、見る側の想像力に働きかけ、理解のきっかけをつくろうと考えた。老若男女、幅広い年代に来場して頂くため、期間中には絵本作家による解説、読み聞かせなども催した。また、必要に応じて文字情報も閲覧できるようにした。

〔期間〕 平成24年6月18日（月）～8月5日（日）

〔場所〕 沖縄県平和祈念資料館1階 企画展示室

〔展示作品〕

- (1) 「水をください」(絵・文 / 安室 二三雄・野原 信子)
- (2) 「湖南丸と沖縄の少年たち」(絵・文 / 宮良 瑛子・宮良 作)
- (3) 「忘れな石」(絵・文 / 宮良 瑛子・宮良 作)
- (4) 「シシプリーシナランドー」(絵・文 / 本村 佳奈子・大城 勝政)
- (5) 「火種を消すな」(絵・文 / 磯崎 主佳・南風原 春子)
- (6) 「おじいの命くとうば」(絵・文 / 磯崎 主佳・野國 紀子)
- (7) 「ずいせん—女学生たちの最前線—」(絵・文 / 宮城 明・宮城 已知子)
- (8) 「ハワイから来たプッチャン」(絵・文 / 宮城 明・森山 英子)
- (9) 「戦がやってきた」(絵・文 / 饒間 比呂志)
- (10) 「沖縄戦—朝鮮人軍夫と従軍慰安婦—」(絵・文 / 饒間 比呂志)

〔観覧者数〕 6,943名



## 5 「児童生徒の平和メッセージ展 in Hawaii」開催報告

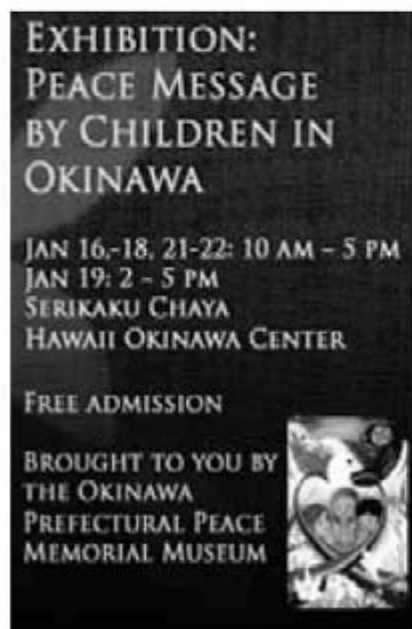
当館では1月16日から22日までの1週間、ハワイ沖縄県人会の御協力を得て、ハワイ沖縄センター内で「児童生徒の平和メッセージ展 in Hawaii」を開催した。

これは県の「海外政策形成実践研修」という、沖縄県の様々な課題解決を図るため海外と連携し研究・研修するというもので「児童生徒の平和メッセージ展を活用し海外のウチナーンチュネットワークと連携しより積極的な平和発信を図る」という趣旨のもと実現したものである。

平成24年度第22回「児童生徒の平和メッセージ展」の最優秀、優秀賞入選作品の詩と作文を英訳しパネルにし、図画は原本合計40点を持参し、ホノルル空港より西に20分ほどにあるハワイ沖縄センター内の Serikaku Chaya にて移動展示会を行った。1週間で延べ300名の来場者を数えた。ハワイ沖縄県人会の方々を中心に、沖縄の子ども達が祖父母や学校で学んだ沖縄戦や、平和についてこんなに真剣な思いを描いているということをアピールできるいい機会となった。

同時に、沖縄戦と住民の様子を写したビデオも常時放映し、「自分は沖縄戦で兄を亡くした。自分の兄や古里が沖縄戦でどんな目にあっただのか、実際の映像や写真などを見て、話に聴いていただけだったのでどんな状況に置かれていたのかよくわかった」と涙を流されながら感想をいただいた。

今後も、世界で活躍するウチナーンチュネットワークを活用し、国内外へ積極的に平和発信していきたい。



EXHIBITION:  
PEACE MESSAGE  
BY CHILDREN IN  
OKINAWA

JAN 16-18, 21-22: 10 AM - 5 PM  
JAN 19: 2 - 5 PM  
SERIKAKU CHAYA  
HAWAII OKINAWA CENTER

FREE ADMISSION

BROUGHT TO YOU BY  
THE OKINAWA  
PREFECTURAL PEACE  
MEMORIAL MUSEUM



## VIII 入館者状況

### 1 月別入館者数

年月	個人入館者数 ※1			団体入館者数 ※1			入館者総数 ※1			開館日数	一日平均入館者数 ※1	入館者総数 ※2
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
2012年4月	6,107 (310)	990 (73)	7,097 (383)	2,288 (297)	16,825 (2,834)	19,113 (3,131)	8,395 (607)	17,815 (2,907)	26,210 (3,514)	30	874	40,462
2012年5月	5,950 (181)	690 (137)	6,640 (318)	5,015 (539)	36,143 (5,829)	41,158 (6,368)	10,965 (720)	36,833 (5,966)	47,798 (6,686)	31	1,542	55,678
2012年6月	7,651 (2,552)	1,577 (1,034)	9,228 (3,586)	3,175 (352)	21,598 (4,434)	24,773 (4,786)	10,826 (2,904)	23,175 (5,468)	34,001 (8,372)	30	1,133	50,156
2012年7月	6,226 (220)	1,147 (6)	7,373 (226)	1,169 (115)	5,245 (1,984)	6,414 (2,099)	7,395 (335)	6,392 (1,990)	13,787 (2,325)	28	492	23,685
2012年8月	8,324 (437)	2,980 (59)	11,304 (496)	952 (259)	1,366 (0)	2,318 (259)	9,276 (696)	4,346 (59)	13,622 (755)	29	470	24,047
2012年9月	5,790 (145)	555 (64)	6,345 (209)	997 (56)	7,526 (319)	8,523 (375)	6,787 (201)	8,081 (383)	14,868 (584)	28	531	20,888
2012年10月	5,209 (259)	553 (86)	5,762 (345)	3,875 (65)	47,385 (842)	51,260 (907)	9,084 (324)	47,938 (928)	57,022 (1,252)	31	1,839	60,055
2012年11月	5,771 (276)	676 (150)	6,447 (426)	5,398 (188)	41,789 (2,520)	47,187 (2,708)	11,169 (464)	42,465 (2,670)	53,634 (3,134)	30	1,788	59,674
2012年12月	4,803 (424)	625 (88)	5,428 (512)	2,844 (77)	32,999 (646)	35,843 (723)	7,647 (501)	33,624 (734)	41,271 (1,235)	28	1,474	46,079
2013年1月	5,533 (213)	529 (37)	6,062 (250)	2,049 (63)	14,773 (154)	16,822 (217)	7,582 (276)	15,302 (191)	22,884 (467)	28	817	30,571
2013年2月	6,453 (174)	535 (40)	6,988 (214)	1,728 (66)	11,001 (120)	12,729 (186)	8,181 (240)	11,536 (160)	19,717 (400)	28	704	30,093
2013年3月	8,064 (349)	1,398 (12)	9,462 (361)	2,225 (38)	11,054 (195)	13,279 (233)	10,289 (387)	12,452 (207)	22,741 (594)	31	734	33,529
合計	75,881 (5,540)	12,255 (1,786)	88,136 (7,326)	31,715 (2,115)	247,704 (19,877)	279,419 (21,992)	107,596 (7,655)	259,959 (21,663)	367,555 (29,318)	352	1,044	474,917

( ) は内数で無料入場者数

※1 は平和祈念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2 は平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

2 年度別入館者数

年度別	有料観覧											開館 日数	平均
	観覧券種別					出身別			計	※無料 観覧者	観覧者 総数		
	大人個人 (%)	大人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	外国	県外	県内						
2000年度	161,361 (38)	71,140 (17)	24,658 (6)	163,644 (39)	3,590	305,812	111,401	420,803	60,215	481,018	310	1,552	
2001年度	111,197 (37)	62,902 (21)	18,195 (6)	107,802 (36)	4,293	251,983	43,820	300,096	36,149	336,245	313	1,074	
2002年度	97,221 (29)	40,624 (12)	17,362 (5)	184,047 (54)	3,971	307,328	27,955	339,254	39,539	378,793	314	1,206	
2003年度	101,015 (27)	37,618 (10)	17,236 (5)	214,535 (58)	3,031	337,730	29,643	370,404	36,748	407,152	317	1,284	
2004年度	91,980 (26)	33,004 (9)	16,329 (5)	215,603 (60)	4,014	321,305	31,597	356,916	37,195	394,111	312	1,263	
2005年度	96,355 (25)	35,303 (9)	18,972 (5)	230,791 (61)	3,429	336,415	41,577	381,421	34,741	416,162	314	1,325	
2006年度	107,813 (26)	33,767 (8)	21,342 (5)	253,821 (61)	4,122	398,291	14,330	416,743	32,987	449,730	359	1,253	
2007年度	107,767 (26)	35,679 (9)	20,563 (5)	245,093 (60)	4,937	390,661	13,504	409,102	30,394	439,496	358	1,228	
2008年度	96,789 (24)	32,933 (8)	18,998 (5)	252,573 (63)	4,039	388,269	8,985	401,293	31,870	433,163	359	1,207	
2009年度	86,412 (23)	34,241 (9)	16,252 (4)	237,756 (64)	6,444	358,583	9,634	374,661	32,712	407,373	359	1,135	
2010年度	81,124 (22)	31,767 (9)	15,092 (4)	234,255 (65)	6,811	345,521	9,906	362,238	33,992	396,230	355	1,116	
2011年度	69,648 (19)	28,662 (8)	11,586 (3)	249,400 (70)	5,815	344,282	9,199	359,296	32,336	391,632	355	1,103	
2012年度	70,341 (21)	29,600 (9)	10,469 (3)	227,827 (67)	6,422	322,946	8,869	338,237	29,318	367,555	352	1,044	
累計	4,830,464								468,196	5,298,660	4,377	1,210	

参考  
総覧の日無料入館者数

年度	入館者数
2000年度	4,966
2001年度	3,157
2002年度	4,750
2003年度	4,259
2004年度	4,849
2005年度	3,815
2006年度	2,813
2007年度	3,785
2008年度	4,257
2009年度	4,649
2010年度	5,479
2011年度	3,665
2012年度	3,240
合計	53,684

3 月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況

月	児童・生徒・学生										少年の船・青年の船等	合計						
	県内					県外												
	小学校	中学校	高等学校	大学	計	小学校	中学校	高等学校	大学	計								
4月	団体数	16 (16)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	106 (0)	21 (0)	4 (0)	131 (0)	16 (16)	106 (0)	24 (3)	4 (0)	150 (19)	11 (7)	161 (26)
	人数	1,687 (1,687)	0 (0)	840 (840)	0 (0)	2,527 (2,527)	0 (0)	10,596 (0)	2,927 (0)	228 (0)	13,751 (0)	1,687 (1,687)	10,596 (0)	3,767 (840)	228 (0)	16,278 (2,527)	547 (307)	16,825 (2,834)
5月	団体数	41 (40)	7 (7)	6 (5)	0 (0)	54 (52)	6 (0)	221 (0)	29 (1)	0 (0)	256 (1)	47 (40)	228 (7)	35 (6)	0 (0)	310 (53)	17 (16)	327 (69)
	人数	3,589 (3,537)	1,408 (1,391)	492 (399)	0 (0)	5,489 (5,327)	291 (0)	26,088 (0)	3,701 (21)	0 (0)	30,080 (21)	3,880 (3,537)	27,496 (1,391)	4,193 (420)	0 (0)	35,569 (5,348)	574 (481)	36,143 (5,829)
6月	団体数	35 (30)	8 (8)	5 (5)	2 (0)	50 (43)	5 (0)	55 (0)	57 (0)	3 (0)	120 (0)	40 (30)	63 (8)	62 (5)	5 (0)	170 (43)	8 (5)	178 (48)
	人数	2,597 (2,423)	1,229 (1,223)	658 (558)	184 (0)	4,668 (4,304)	138 (0)	7,486 (0)	8,888 (0)	161 (0)	16,673 (0)	2,736 (2,423)	8,715 (1,223)	9,546 (558)	345 (0)	21,341 (4,304)	235 (130)	21,576 (4,434)
7月	団体数	11 (10)	3 (2)	3 (3)	0 (0)	17 (15)	4 (0)	6 (0)	14 (0)	0 (0)	24 (0)	15 (10)	9 (2)	17 (3)	0 (0)	41 (15)	12 (1)	53 (16)
	人数	759 (743)	502 (472)	743 (739)	0 (0)	2,004 (1,954)	175 (0)	631 (0)	1,966 (0)	0 (0)	2,772 (0)	934 (743)	1,133 (472)	2,709 (739)	0 (0)	4,776 (1,954)	469 (30)	5,245 (1,984)
8月	団体数	2 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	5 (0)	1 (0)	2 (0)	5 (0)	2 (0)	10 (0)	3 (0)	2 (0)	5 (0)	5 (0)	15 (0)	16 (0)	31 (0)
	人数	75 (0)	0 (0)	60 (0)	60 (0)	135 (0)	68 (0)	43 (0)	307 (0)	79 (0)	497 (0)	143 (0)	43 (0)	307 (0)	139 (0)	632 (0)	734 (0)	1,366 (0)
9月	団体数	5 (5)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (6)	1 (0)	7 (0)	39 (0)	6 (0)	53 (0)	6 (5)	9 (1)	9 (0)	6 (0)	60 (6)	1 (1)	61 (7)
	人数	225 (222)	92 (72)	0 (0)	0 (0)	317 (294)	28 (0)	480 (0)	6,438 (0)	237 (0)	7,183 (0)	253 (222)	572 (72)	6,438 (0)	237 (0)	7,500 (294)	26 (25)	7,526 (319)
10月	団体数	8 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	2 (0)	12 (0)	241 (1)	2 (0)	257 (1)	10 (8)	12 (0)	241 (1)	2 (0)	265 (9)	4 (1)	269 (10)
	人数	799 (798)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	799 (798)	141 (0)	776 (0)	45,472 (1)	86 (0)	46,475 (0)	940 (798)	776 (0)	45,472 (1)	86 (0)	47,274 (799)	105 (43)	47,379 (842)
11月	団体数	35 (35)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (36)	0 (0)	17 (0)	199 (0)	0 (0)	216 (0)	35 (35)	18 (0)	199 (0)	0 (0)	252 (36)	4 (1)	256 (37)
	人数	2,293 (2,289)	205 (205)	3 (0)	0 (0)	2,501 (2,494)	3 (0)	1,542 (0)	37,468 (0)	0 (0)	39,013 (0)	2,296 (2,289)	1,747 (205)	37,471 (0)	0 (0)	41,514 (2,494)	274 (26)	41,788 (2,520)
12月	団体数	11 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (10)	0 (0)	33 (0)	187 (1)	2 (0)	222 (1)	11 (10)	33 (0)	187 (1)	2 (0)	233 (11)	4 (1)	237 (12)
	人数	647 (581)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	647 (581)	0 (0)	3,453 (0)	28,702 (14)	87 (0)	32,242 (14)	647 (581)	3,453 (0)	28,702 (14)	87 (0)	32,889 (595)	110 (51)	32,999 (646)
1月	団体数	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	12 (0)	74 (0)	0 (0)	87 (0)	1 (0)	12 (0)	75 (0)	0 (0)	88 (0)	5 (3)	93 (3)
	人数	6 (0)	0 (0)	21 (0)	0 (0)	27 (0)	157 (0)	1,210 (0)	13,179 (26)	45 (0)	14,546 (0)	163 (0)	1,210 (0)	13,200 (0)	0 (0)	14,573 (154)	200 (154)	14,773 (154)
2月	団体数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	12 (0)	51 (1)	2 (0)	68 (1)	3 (0)	12 (0)	51 (1)	2 (0)	68 (2)	2 (2)	70 (3)
	人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	232 (0)	1,297 (0)	9,317 (26)	45 (0)	10,891 (26)	232 (0)	1,297 (0)	9,317 (26)	45 (0)	10,891 (26)	104 (94)	10,995 (120)
3月	団体数	5 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (3)	3 (0)	9 (0)	72 (0)	4 (0)	88 (4)	8 (3)	9 (0)	72 (0)	4 (0)	93 (3)	3 (1)	96 (4)
	人数	202 (139)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	202 (139)	90 (0)	1,060 (0)	9,237 (0)	315 (0)	10,702 (0)	292 (139)	1,060 (0)	9,237 (0)	315 (0)	10,904 (139)	150 (56)	11,054 (195)
人数 合計	団体数	169 (157)	21 (19)	18 (16)	5 (0)	213 (192)	26 (0)	492 (0)	989 (4)	25 (0)	1,532 (4)	196 (157)	513 (19)	1,007 (20)	30 (0)	1,745 (196)	87 (39)	1,832 (235)
	人数	12,879 (12,419)	3,436 (3,363)	2,757 (2,536)	244 (0)	19,316 (18,418)	1,323 (0)	54,662 (0)	167,602 (62)	1,238 (0)	224,825 (62)	14,202 (12,419)	58,098 (3,363)	170,359 (2,588)	1,482 (0)	244,141 (18,480)	3,528 (1,397)	247,669 (19,877)

( ) 内は内数で無料入館者数



4 市町村別団体入館者数

市町村名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 那覇市	34	3,123	4	853	5	380	1	166	44	4,522	28	1,172	72	5,694
2 うるま市	8	809	1	251	2	288	0	0	11	1,348	6	252	17	1,600
3 宜野湾市	3	406	0	0	0	0	1	27	4	433	3	95	7	528
4 宮古島市	14	608	0	0	0	0	0	0	14	608	1	83	15	691
5 石垣市	9	523	0	0	0	0	0	0	9	523	0	42	9	565
6 浦添市	11	1,377	2	549	1	268	0	0	14	2,194	9	863	23	3,057
7 名護市	11	748	0	0	0	0	1	13	12	761	4	224	16	985
8 糸満市	10	705	4	363	1	240	0	0	15	1,308	6	279	21	1,587
9 沖縄市	11	1,030	1	274	3	794	0	0	15	2,098	9	845	24	2,943
10 豊見城市	7	741	2	423	0	0	0	0	9	1,164	1	94	10	1,258
11 南城市	9	543	2	195	0	0	0	0	11	738	1	87	12	825
12 国頭村	1	32	0	0	0	0	0	0	1	32	1	34	2	66
13 大宜味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	26	1	26
14 東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 今帰仁村	3	110	0	0	0	0	0	0	3	110	1	41	4	151
16 本部町	2	95	0	0	0	0	0	0	2	95	1	49	3	144
17 恩納村	2	71	2	86	0	0	0	0	4	157	1	45	5	202
18 宜野座村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	26	1	26
19 金武町	2	107	0	0	0	0	0	0	2	107	3	99	5	206
20 伊江村	2	51	0	0	0	0	0	0	2	51	0	7	2	58
21 読谷村	2	130	0	13	1	320	0	0	3	463	3	151	6	614
22 嘉手納町	1	28	0	10	2	117	0	0	3	155	33	1,034	36	1,189
23 北谷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	271	3	271
24 北中城村	2	73	1	198	1	280	0	0	4	551	2	132	6	683
25 中城村	1	93	0	0	0	0	0	0	1	93	0	4	1	97
26 西原町	3	234	1	201	1	37	2	38	7	510	0	28	7	538
27 八重瀬町	5	297	0	0	0	0	0	0	5	297	2	150	7	447
28 与那原町	2	259	0	0	0	0	0	0	2	259	2	64	4	323
29 南風原町	6	501	0	0	1	33	0	0	7	534	2	141	9	675
30 久米島町	4	107	0	0	0	0	0	0	4	107	0	14	4	121
31 渡嘉敷村	0	0	1	20	0	0	0	0	1	20	0	18	1	38
32 座間味村	1	12	0	0	0	0	0	0	1	12	0	2	1	14
33 粟国村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34 渡名喜村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 南大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36 北大東村	1	17	0	0	0	0	0	0	1	17	0	4	1	21
37 伊平屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38 伊是名村	1	22	0	0	0	0	0	0	1	22	0	3	1	25
39 多良間村	1	27	0	0	0	0	0	0	1	27	0	0	1	27
40 竹富町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41 与那国町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
合計	169	12,879	21	3,436	18	2,757	5	244	213	19,316	124	6,382	337	25,698

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。



5 都道府県別団体入館者数

都道府県名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 北海道	1	58	0	0	18	1,904	1	46	20	2,008	13	718	33	2,726
2 青森県	0	0	0	0	5	553	0	0	5	553	3	183	8	736
3 岩手県	0	0	3	217	6	390	0	0	9	607	5	241	14	848
4 宮城県	0	0	3	217	13	998	0	0	16	1,215	7	276	23	1,491
5 秋田県	0	0	2	308	1	20	0	0	3	328	2	197	5	525
6 山形県	0	0	5	486	6	560	0	0	11	1,046	5	197	16	1,243
7 福島県	1	51	1	33	24	3,697	0	0	26	3,781	7	479	33	4,260
8 茨城県	0	0	1	138	33	5,639	0	0	34	5,777	2	420	36	6,197
9 栃木県	0	0	0	0	55	9,901	0	0	55	9,901	5	795	60	10,696
10 群馬県	0	0	0	0	22	3,520	1	24	23	3,544	9	461	32	4,005
11 埼玉県	0	0	1	244	81	18,695	4	196	86	19,135	13	1,617	99	20,752
12 千葉県	0	7	0	0	69	14,443	2	112	71	14,562	10	1,022	81	15,584
13 東京都	2	63	14	1,320	182	31,256	9	399	207	33,038	65	4,822	272	37,860
14 神奈川県	2	42	6	599	93	18,115	1	19	102	18,775	11	1,202	113	19,977
15 新潟県	0	2	2	209	11	1,949	0	0	13	2,160	5	229	18	2,389
16 富山県	0	0	4	372	3	298	0	0	7	670	1	99	8	769
17 石川県	0	0	1	26	7	718	0	0	8	744	1	94	9	838
18 福井県	0	0	0	0	2	438	0	0	2	438	3	146	5	584
19 山梨県	0	0	0	16	17	2,703	0	0	17	2,719	3	265	20	2,984
20 長野県	0	12	0	0	45	7,076	0	0	45	7,088	5	497	50	7,585
21 岐阜県	0	0	2	184	45	8,316	0	0	47	8,500	9	720	56	9,220
22 静岡県	1	68	3	188	53	7,695	0	0	57	7,951	5	656	62	8,607
23 愛知県	0	1	8	1,706	69	11,068	1	163	78	12,938	14	1,318	92	14,256
24 三重県	0	0	16	1,491	14	2,467	1	46	31	4,004	1	336	32	4,340
25 滋賀県	0	0	22	3,232	6	760	0	0	28	3,992	3	388	31	4,380
26 京都府	2	93	26	3,392	13	1,710	0	0	41	5,195	5	600	46	5,795
27 大阪府	2	100	80	11,456	16	2,413	1	21	99	13,990	11	1,461	110	15,451
28 兵庫県	2	82	55	7,241	13	2,043	0	0	70	9,366	5	916	75	10,282
29 奈良県	0	0	27	3,177	0	0	0	0	27	3,177	5	530	32	3,707
30 和歌山県	0	0	7	371	2	518	0	0	9	889	3	131	12	1,020
31 鳥取県	1	25	10	929	0	0	0	0	11	954	0	83	11	1,037
32 島根県	0	0	3	245	0	0	0	0	3	245	3	99	6	344
33 岡山県	0	12	66	6,199	7	286	1	25	74	6,522	11	911	85	7,433
34 広島県	1	28	19	1,495	13	1,887	0	0	33	3,410	9	626	42	4,036
35 山口県	0	0	3	157	8	596	0	0	11	753	2	146	13	899
36 徳島県	0	0	3	135	0	0	0	0	3	135	6	236	9	371
37 香川県	0	0	18	2,569	3	513	0	0	21	3,082	1	238	22	3,320
38 愛媛県	0	0	0	0	10	526	1	70	11	596	4	149	15	745
39 高知県	0	0	21	1,498	2	196	0	0	23	1,694	0	153	23	1,847
40 福岡県	1	80	18	1,844	14	2,744	1	30	34	4,698	23	2,242	57	6,940
41 佐賀県	0	0	8	446	0	0	0	0	8	446	2	166	10	612
42 長崎県	0	0	2	169	2	320	0	0	4	489	12	414	16	903
43 熊本県	1	152	21	1,648	1	227	0	0	23	2,027	1	254	24	2,281
44 大分県	1	19	2	61	2	192	1	87	6	359	4	141	10	500
45 宮崎県	0	0	6	350	3	252	0	0	9	602	8	285	17	887
46 鹿児島県	8	428	3	294	0	0	0	0	11	722	5	211	16	933
合計	26	1,323	492	54,662	989	167,602	25	1,238	1,532	224,825	327	27,370	1,859	252,195
47 沖縄県	169	12,879	21	3,436	18	2,757	5	244	213	19,316	124	6,382	337	25,698

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

## IX 八重山平和祈念館

### 1 概要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成をめざす。

#### (1) 設立経過

1989（平成元）年

5月28日 戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者支援会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。

10月16日 沖縄県議会（9月定例会）において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」を決議される。

1995（平成7）年

12月25日 平成8年度国庫予算において、事務次官折衝の中でマラリア慰籍事業費として総額3億円が認められる。

慰籍事業の内訳は、次のとおりである。

- ① 慰霊碑建立
- ② 八重山平和祈念館建設
- ③ マラリア死没者慰籍の資料収集・編纂『悲しみをのり越えて』発行等
- ④ マラリア死没者慰籍のための追悼式

1997（平成9）年

3月31日 八重山平和祈念館竣工

1998（平成10）年

1月～ 八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催（3月まで）

5月 八重山平和祈念館基本計画策定

11月～ 八重山平和祈念館監修委員会開催（平成11年2月まで）  
八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注（平成11年3月まで）

1999（平成11）年

3月 「沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」議決・公布  
「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。

5月28日 八重山平和祈念館開館式

5月29日 八重山平和祈念館一般公開

#### (2) 施設の概要

① 総面積 : 520 m<sup>2</sup>

② 各室面積

第1展示室 : 130 m<sup>2</sup>

第2展示室 : 120 m<sup>2</sup>

保管室 : 20 m<sup>2</sup>

図書室 : 30 m<sup>2</sup>

会議室 : 45 m<sup>2</sup>

事務室：30㎡

- (3) 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- (4) 休館日  
毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館）及び年末年始の12月29日から1月3日まで
- (5) 観覧料  
大人 100円 団体（20名以上）70円  
小人 50円 団体 35円
- (6) 展示構成  
① アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦  
② 沖縄戦と八重山  
③ 戦争マラリアの悲劇  
④ マラリア根絶に向かって  
⑤ 戦争マラリア援護会の活動  
⑥ 八重山地域における平和発信拠点を目指して
- (7) 展示物の内容  
① 写真、地図、絵のパネル等  
② 図画、作文  
③ 戦前の切手、紙幣、硬貨等  
④ 遺品類（ハガキ、キセル等）  
⑤ 高熱に苦しむ母子像（マラリア患者の看病の様子）



八重山平和祈念館外観





### 3 事業概要

#### (1) 展示活動

##### ① 復帰40周年記念企画展「資料にみる八重山のあゆみ」※新規

復帰40周年記念企画として、復帰前から復帰後の八重山地区の移り変わりがわかる、当時の写真、実物資料及び映像資料を取り揃え、復帰とは何かを考える機会とした。

[期間] 平成24年5月10日(木)～5月20日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] ア 復帰時の様子がわかる映像や写真パネル  
イ 復帰前後に使用していた実物資料等

[入場者] 498名



観覧風景

##### ② 「戦後 八重山の開拓移民」展

戦後、本島や宮古島等から八重山地域へ移住してきた開拓移民の歴史を取り上げ、当時の写真や証言等を通して、八重山の戦後復興の中で、開拓民が築いた集落の歴史や、八重山軍民の生活等、入植地の様子や雰囲気を感じる機会とした。

また、開拓移民により患者数が増加した、移民マラリアについても紹介した。

[期間] 平成24年6月12日(火)～7月1日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] ア 資料でみる移民の歴史  
イ 集落紹介  
ウ 移民の体験談  
エ 移民とマラリア  
オ 各村の開拓・入植記念碑  
カ 写真で見る開拓移民

[入場者] 902名



展示風景

##### ③ 夏休み企画「号外新聞展」※新規

夏休み期間に行う、夏休み平和学習会(自由研究相談室、参加型コーナー)にあわせ、世間の関心度が高いニュースをいち早く伝えるために発行される号外新聞を展示し、発行当時の世相や歴史の節目を感じてもらおう機会とした。



観覧風景

[期間] 平成24年8月1日(水)～9月2日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] ア 号外新聞の説明

イ 号外新聞の展示

[入場者] 476名

#### ④ 「平和」と「人権」に尽くした偉人たち

平和と人権の確立に尽力した個人や団体に焦点をあて、その活動や歴史を紹介し、あらためて平和や人権の大切さを考える機会とした。

[期間] 平成24年11月17日(土)～12月9日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] ア 偉人たちの年表と活動内容

イ ノーベル平和賞、沖縄平和賞の紹介

[入場者] 316名



展示風景

#### ⑤ 第13回特別企画展 「沖縄人が見た戦世とアメリカ世」(本館移動展)

戦中から、戦後のアメリカ統治下の沖縄の様子を、写真パネル、実物資料、映像資料を展示することにより、時代の移り変わりや、戦争と平和について考える機会とした。

[期間] 平成25年1月18日(金)～2月24日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] ア 戦世の人々

(戦争に取り込まれた住民)

イ アメリカ世の人々

(平和を求め立ち上がる沖縄人)

[入場者] 414名



観覧風景

## (2) 平和教育活動

### ① 児童福祉週間ビデオ上映会

児童福祉週間関連事業の一環として、児童生徒の観覧無料期間に合わせて戦争関係のビデオ上映を行い、平和について考える機会とした。

[日時] 平成24年5月4日(金)



[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 30名

## ② 慰霊の日 ビデオ上映会

沖縄慰霊の日にあたり、平和とは何かを考えさせる映画を上映することで、児童生徒への平和教育への一環とした。

[日時] 平成24年6月23日(土)～24日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 45名

## ③ 第22回 児童・生徒の平和メッセージ展

本館が主催し応募した、児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の優秀作品を展示し、「児童・生徒の平和メッセージ」を発信する機会とした。

[期間] 平成24年7月12日(木)～7月22日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 112名



開会式典の様子

## ④ 夏休み平和学習会（自由研究相談室、アニメ上映会及び体験コーナー）

夏休みの平和学習の場として、自由研究などに主体的に取り組む児童生徒への支援を行った。

[期間] 平成24年8月1日(水)～9月2日(日)

[場所] 八重山平和祈念館

[内容] ア 夏休み自由研究相談室

イ 体験学習コーナー

(「平和のうちわを作ろう!」、「マラリアについて学ぼう!」。)

ウ 夏休みアニメ上映会

[参加者] 45名



体験学習コーナーの様子

## (3) 調査研究活動

### ① 聞き取り・現地調査等

企画展や特別企画展の充実、戦争マラリアや八重山地域の戦争に関する認識を深めるため、資料収集に合わせて体験者への聞き取り調査や、現地調査を実地した。

[対象] 八重山に関する戦争体験や企画に関する体験をした人や場所等。

[内容] 平成24年5月14日(月) 開拓移民について現地調査(公民館、開拓碑等)

平成25年1月21日(月) 西表島のマラリア犠牲者、開拓移民について現地調査

#### (4) 県内学校の対応について

##### ① 学校教員向け見学説明会

学校で平和活動が活発に行われる6月を前に、学校教員を対象に、館内の展示解説、利用や活用方法等を説明し、学校の利用促進を図った。

[日時] 平成24年5月31日(木)、6月5日(火)

[場所] 八重山平和祈念館

[参加者] 6名(初任者教員及び初任研担当教員)

月別入館者数 平成24年度 八重山平和祈念館

	常設展示室(第1展示室)										入館者総数			第2展示室 企画展等 入館者数 ※入場無料
	個人入館者数					団体入館者数					大人	小人	合計	
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計					
2012年 4月	102 (4)	10 (2)	112 (6)	21 (1)	0 (0)	21 (1)	123 (5)	10 (2)	133 (7)					
2012年 5月	135 (15)	36 (32)	171 (47)	32 (3)	61 (10)	93 (13)	167 (18)	97 (42)	264 (60)				528	
2012年 6月	129 (48)	119 (114)	248 (162)	78 (57)	621 (621)	699 (678)	207 (105)	740 (735)	947 (840)				877	
2012年 7月	93 (5)	14 (6)	107 (11)	37 (37)	37 (37)	74 (74)	130 (42)	51 (43)	181 (85)				137	
2012年 8月	158 (11)	66 (30)	224 (41)	33 (17)	116 (80)	149 (97)	191 (28)	182 (110)	373 (138)				454	
2012年 9月	119 (2)	14 (3)	133 (5)	59 (1)	31 (0)	90 (1)	178 (3)	45 (3)	223 (6)				22	
2012年 10月	123 (7)	4 (3)	127 (10)	110 (4)	0 (0)	110 (4)	233 (11)	4 (3)	237 (14)				0	
2012年 11月	134 (18)	8 (3)	142 (21)	10 (0)	131 (0)	141 (0)	144 (18)	139 (3)	283 (21)				253	
2012年 12月	108 (8)	4 (0)	112 (8)	35 (3)	0 (0)	35 (3)	143 (11)	4 (0)	147 (11)				63	
2013年 1月	135 (1)	7 (4)	142 (5)	5 (5)	46 (46)	51 (51)	140 (6)	53 (50)	193 (56)				238	
2013年 2月	141 (20)	7 (1)	148 (21)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	141 (20)	7 (1)	148 (21)				176	
2013年 3月	179 (45)	5 (1)	184 (46)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	179 (45)	5 (1)	184 (46)				0	
合計	1,556 (184)	294 (199)	1,850 (383)	420 (128)	1,043 (794)	1,463 (922)	1,976 (312)	1,337 (993)	3,313 (1,305)				2,748	

( )は内数で無料入場者数

## X 沖縄県平和祈念資料館友の会

### 1 活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話及び絵本の読み聞かせ
- (3) ポイントガイド（平和祈念公園地域の案内等）
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車
- (6) その他

### 2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全工程を含む旅行行程表を添えて下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会

所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の 1

TEL：098-997-3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

FAX：098-997-3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

\*学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。

\*決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。

\*電話での申込及び変更には応じられませんのでご了承ください。

### 3 申込条件

- (1) 申込締切は原則として2ヶ月前とします
- (2) 平和学習の団体については事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

県内学校及び地域における学習支援 1回につき 5,000円

平和講話 1回につき 10,000円

ポイントガイド 1回につき 5,000円

バス乗車 1回につき 10,000円

※協力金は終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

### 4 平成24年度 講話・ガイド活動実績件数

◎平成24年4月～平成25年3月までの活動状況

（県外）

団体	実施件数	実施人数	派遣講師
高等学校	78	13,242	78
中学校	48	4,899	48
小学校	17	7,115	17
その他	34	1,585	34
計	177	26,841	177

(県内)

高等学校	4	2,714	4
中学校	10	1,057	10
小学校	16	7,029	16
その他	4	290	4
合計	34	11,088	34

(県外・県内)

合計	211	37,929	211
----	-----	--------	-----

## 5 平成24年度 活動内容

- (1) 2階常設展示室の解説員
- (2) 協力事業「平和祈念堂」：清明祭への協力
- (3) 友の会総会：平成24年5月12日（土）
- (4) 学習会1：平成24年5月12日（土）沖縄戦の体験者の証言
- (5) 学習会2：平成24年8月21日（火）戦跡フィールドワーク シュガーローフから首里へ
- (6) 学習会3：平成24年12月4日（火）沖縄戦講座  
後援会「占領下の復興を考える」講師：鳥山 淳 氏
- (7) 協力事業：平成24年4月28日（土）「平和祈念財団」鯉のぼり掲揚式への協力
- (8) 協力事業：平成24年10月5日（金）「平和祈念財団」平和祈念公園愛護活動への協力



平和学習ガイドの様子



友の会総会の様子

## XI 関係条例・規則・要綱

### 1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（昭和49年沖縄県条例第30号）の全部を改正する。

〔設置〕

**第1条** 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

**第2条** 平和祈念資料館（分館を除く。）及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

**第3条** 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

**第4条** 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは工作物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

**第5条** 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。

3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

**第6条** 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。

3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 公益を害するおそれがあるとき。
- (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。



(4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

**第7条** 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

**第8条** 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

**第9条** 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

**第10条** 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

**第11条** 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

**第12条** 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

**第13条** 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事の指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

**第14条** 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第18条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
- (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

**第15条** 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定〕

**第16条** 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認められるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

〔指定管理者の指定等の告示〕

**第17条** 知事は、前条の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

2 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

[平和の礎の利用の禁止又は制限]

**第18条** 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。

- (1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

[損害の賠償等]

**第19条** 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

[事業報告書の提出]

**第20条** 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

[運営協議会]

**第21条** 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

[規則への委任]

**第22条** この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備 考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

別表第1（第5条関係）

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く。)	大 人	300円	1人につき 240円
	小 人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大 人	100円	1人につき 70円
	小 人	50円	1人につき 35円

備考

- 1 この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- 2 この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第2（第7条関係）

1 施設使用料

区 分		単 位	使 用 料
平和祈念資料館 (分館を除く。)	ホ ー ル	1時間につき	1,570円
	展 示 室	1日につき	4,520円
	大会議室	1時間につき	620円
	中会議室	1時間につき	430円
	小会議室	1時間につき	190円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使 用 料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
そ の 他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

備考

- 1 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- 2 ホールを練習、準備のため専用して使用する場合の使用料の額は、この表の区分に従い、当該区

分に定める額の100分の30に相当する額とする。

- 3 1 及び 2 において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 4 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

## 2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関する規則（昭和49年沖縄県規則第57号）の全部を改正する。

〔趣旨〕

**第1条** この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成12年沖縄県条例第11号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

**第2条** 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後4時30分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

**第3条** 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。

ただし、第1号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

(1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

(2) 年始休館日 1月1日から同月3日まで

(3) 年末休館日 12月29日から同月31日まで

(4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第4号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

**第4条** 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第1に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

**第5条** 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条の規定により、観覧料を免除する。

(1) 慰霊の日を定める条例第2条に規定する慰霊の日に観覧する場合

(2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合

(3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法（昭和24法律第283号）第15条第4項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(7) 前6号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第2号、第3号及び第7号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第2号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第1項第4号、第5号及び第6号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

**第6条** 条例第6条第1項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）

の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第3号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き2日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の6月前から1週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の3月前から3日前までの期間内に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

**第7条** 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書（第4号様式。以下「使用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

**第8条** 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書（第5号様式）に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書（第6号様式）を使用者に交付するものとする。

3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書（前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。）を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届（第7号様式）を知事に提出しなければならない。

〔附属設備等の使用料〕

**第9条** 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

**第10条** 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。

3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。

(1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。

(2) 国又は地方公共団体が使用するとき。

(3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

**第11条** 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。

(1) 天災その他使用者の責めに帰すことができない事情により使用できなかったとき。

当該使用料の全額

(2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。

当該使用料の5割。

(3) 使用者がホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。

当該使用料の5割

2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書（第8号様式）を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

**第12条** 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。

(1) 沖縄県が使用するとき。 免除

(2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体（以下「国等」という。）が、沖縄県と共催し、平和に



関する事業を行うために使用するとき。 免除

(3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。 5割

(4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。 知事が定める割合

2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書(第9号様式)を知事に提出しなければならない。

3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書(第10号様式)を使用者に交付するものとする。

[使用方法等の事前打合わせ]

**第13条** 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

[使用者の遵守事項]

**第14条** 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。

(2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。

(3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。

(4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

[行為の制限]

**第15条** 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 火災、爆発その他危険を生じおそれのある行為

(2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為

(3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為

(4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布

(5) 許可された場所以外の場所への立入り

(6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙

(7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為

(8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

[損傷等の届出]

**第16条** 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

[使用後の点検]

**第17条** 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

[寄贈及び寄託]

**第18条** 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書(第11号様式)又は資料寄託申請書(第12号様式)を提出しなければならない。

3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

[受領証の交付]

**第19条** 知事は、前条第1項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証(第13号様式)を交付するものとする。

[寄託資料の保管]

**第20条** 第18条第1項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

[寄託資料の返還]

**第21条** 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

第22条 知事は必要と認めるときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第14号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

第23条 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第15号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

第24条 第22条第1項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

第25条 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

- 2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。
- 3 利用者は、前2項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

第26条 条例第15条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第16号様式）によるものとする。

- 2 条例第15条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

- (1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市町村長が発行するものに限る。）
- (3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
- (4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
- (5) 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔事業報告書〕

第27条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

- (1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
- (2) 業務に係る収支状況
- (3) 前2号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

第28条 条例第21条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員15人以内をもって組織する。

- 2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。
- 3 運営協議会の委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
- 5 会長は運営協議会を代表し、会務を総理する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 運営協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 8 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 9 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。
- 10 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 11 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

- 12 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
- 13 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

**第29条** この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備 考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種別	品目	単位	使用料	
ホ ル	舞台	1台	300円	
	司会者卓	1台	150円	
	花台	1台	100円	
	金びょうぶ	1双	700円	
	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
		ワイヤレスマイク	1本	450円
		カセットテープレコーダー	1台	300円
		CDプレーヤー	1台	500円
		ビデオデッキ（VHS）	1台	500円
		レーザーディスクプレーヤー	1台	500円
照明器具	ボーダーライト（150W×48灯）	1列	250円	
	サスペンションライト（500W×12台）	1列	300円	
	シーリングスポットライト（500W×15台）	1列	460円	
	アッパーホリゾンライト（150W×60灯）	1列	360円	
	ローアホリゾンライト（150W×60灯）	1列	300円	
	フットライト（60W×48灯）	1列	100円	
	フォロースポットライト（1KW）	1式	100円	
その他	映写機16mm	1台	1,260円	
	スライドプロジェクター	1台	520円	
会 議 室	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
		ワイヤレスマイク	1本	450円
		カセットテープレコーダー	1台	300円
		CDプレーヤー	1台	400円
		ビデオデッキ（VHS）	1台	400円
	その他	ビデオプロジェクター	1台	1,260円
		オーバーヘッドプロジェクター	1台	520円
展 示 室	その他	展示ケース（大）	1台	1,000円
		展示ケース（小）	1台	500円

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区	分	単 位	使 用 料
平和祈念資料館 （分館を除く）	ホ ー ル	1時間につき	2,110円
	展 示 室	1時間につき	890円
	大会議室	1時間につき	700円
	中会議室	1時間につき	460円
	小会議室	1時間につき	110円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

### 3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

#### 〔設置〕

第1条 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第23条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

#### 〔任務〕

第2条 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

#### 〔構成〕

第3条 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

#### 〔部会長〕

第4条 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

#### 〔会議〕

第5条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

#### 〔秘密の保持〕

第6条 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

#### 〔補則〕

第7条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

#### 附 則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

## XII 資料

各種申請書・要項

沖縄県立平和祈念（旧館）年度別入館状況



観覧料免除申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電話番号

次のとおり <sup>沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。)</sup> <sub>八重山平和祈念館</sub> の観覧料の免除を申請します。

観覧の目的	
観覧者数	人
観覧の日時	平成 年 月 日 ( ) 時 分から 時 分まで
引率者氏名 又は 観覧者氏名	
備 考	

第3号様式（第6条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者 〒  
住 所  
団 体 名  
代表者氏名  
電話番号

印

次のとおり使用したいので申請します。

催物の名称					
使用目的					
催物の内容					
使用施設	使 用 日 時				人 員
ホ ー ル	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前 時 分～				
	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前 時 分				
展 示 室	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前 時 分～				
	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前 時 分				
大会議室	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前 時 分～				
	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前 時 分				
中会議室	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前 時 分～				
	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前 時 分				
小会議室	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前 時 分～				
	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前 時 分				
八重山平和 祈念館展示室	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前 時 分～				
	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前 時 分				
使用 附属設備					
入 場 料	無 料 有 料 ( 円)	指定席	自由席	入場予定人員	名
		整理券	会員券		
使用責任者 氏 名	使用責任者 の電話番号				
	施設使用料	付属設備使用料	冷房使用料	使用料減免額	計
使用料	円	円	円	円	円

(注) 太線の枠内は、記入しないでください。

沖縄県平和記念資料館使用料減免申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 歳

申請者 〒

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電話番号

次のとおり使用料の減額・免除を申請します。

催物の名称	
使用目的	
催物の内容	
使用期間	平成 年 月 日 ( ) 時 分から 平成 年 月 日 ( ) 時 分まで
減額・免除を申請する理由	平和事業に利用するため
備 考	

(注) この申請書は、使用許可申請書と同時に提出すること。

資料寄贈申込書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

位 所

団 体 名

代表者氏名

印

電話番号

次の資料を 沖縄県平和祈念資料館（分館を除く。）に寄贈いたします。  
八重山平和祈念館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
寄 贈 受 諾 証	
<p>申込みのあった資料の寄贈を受諾します。</p> <p>ただし、寄贈を受けた資料は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第18条第3項の規定により返還されません。</p>	
年 月 日	
沖縄県知事 印	

資料寄託申請書

年 月 日

送附先 鹿児島県立図書館

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電話番号

次の資料を 沖縄県平和祈念資料館（分館を除く。）に寄託いたします。  
八重山平和祈念館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
寄託期間	年 月 日から 年 月 日まで

## 展示資料等の撮影・複製・掲載・放映許可申請書

沖縄県平和祈念資料館長 殿

沖縄県平和祈念資料館所蔵の展示資料等の撮影・複製・掲載・放映について下記のとおり許可されたく申請します。撮影・複製にあたっては、沖縄県平和祈念資料館のご指示を遵守し、掲載及び放映については、著作権法に定める一切の責任を私において負担することはもちろんのこと、沖縄県平和祈念資料館に対していささかのご迷惑もおかけしないことを誓約いたします。

所在地又は住所（郵便番号・電話番号を明記）

会社名（団体）

責任者名又は担当者名

氏

〒

1 目的

2 申請資料名

3 掲載番組名等及び発行予定日（放映等にあたってはその番組名と放送予定日）

4 撮影日時

5 撮影担当者

許可条件（1）上記目的以外に使用しないこと。

（2）掲載・放映に際しては「沖縄県平和祈念資料館提供」の旨を表示すること。

（3）使用目的の完了後、すみやかに成果品を返供すること。

（4）資料に記載されている情報のうち、プライバシーや個人情報の保護に充分に対応し、違法又は人権を侵害する利用となる場合には、文書資料の本文をそのまま公にしないこと。



## 資料貸出要項

### 1 貸出資料

- 写真パネル（沖縄戦172点 サイパン・ジニアン戦29点）
- 児童・生徒の平和メッセージ図画・作文・詩入道作品パネル
- 世界人権宣言絵画パネル一式（35点）
- 沖縄戦史物資料（20種類）

### 2 貸出条件（条例施行規則第22、23条）

- (1) 貸出資料は、当館が適切と認める公共団体等の展示等で利用・活用されること。
- (2) 貸出申請の際は、身元確実な保証人がいなければならない。
- (3) 貸出申請者は、この許可証を紛失したときは、速やかに届け出なければならない。
- (4) 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、または貸与してはならない。
- (5) 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限に返還できなかった場合は、遅延理由書を出さなければならない。
- (6) 貸出申請者は、貸出資料の原型に変更を加えてはならない。
- (7) 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、または著しく汚損し、もしくは破損した場合は、これを原型に復し、または相当の代償をもって損害を賠償しなければならない。

### 3 特記事項

- (1) 貸出資料数は、原則として20点以内とする。
- (2) 資料貸出期間は、原則として1ヶ月以内とする。
- (3) 資料貸出の申請は、原則として貸出日の2週間前までに行うこと。
- (4) 資料の貸出は無料とする。但し、貸出に係る輸送等の経費は、借受人の負担とする。
- (5) 資料の輸送は、原則として専門的技量を有する輸送業者扱いとし、借受人が平配すること。輸送業務は、梱包から開梱まで含むこと。
- (6) 借受人は貸出条件を遵守すること。条件に違反した場合には許可を取り消すことがある。その際に生じた損害については、当資料館はその責任を負わない。
- (7) 貸出資料の利用によって著作権法に係る問題が生じたときは、当資料館はその責任を負わない。
- (8) 借受人は貸出資料の利用状況について、「関係報告書」を提出すること。

### 4 提出書類

- (1) 資料貸出申請書（14号様式）
  - (2) 資料貸出明細書
  - (3) 事業企画書（実施要項等）
  - (4) 関係報告書（指定用紙）
- \*申請はあらかじめFAXで行い、後日原本を郵送して下さい。

連絡先：沖縄県平和祈念資料館

〒901-0838 沖縄県糸満市字摩文仁616-1

Tel 098-997-3844 Fax 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

資料貸出申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所  
 同 体 名  
 代表者氏名  
 電話番号

印

保証人

住 所  
 氏 名  
 電話番号

印

沖縄県平和折会資料館(分館を除く。)の資料について、貸出しを申請します。  
 八 重 山 平 和 折 会 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
保 管 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
貸 出 声 請 理 向	

## 観争体験証言ビデオ貸出費項

### 1 目的

編集済み戦争体験証言ビデオ（以下、「証言ビデオ」という。）を貸し出すことによって、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と平和の尊さを知ってもらう。

### 2 利用方法

- (1) 利用者は「貸出用証言ビデオリスト」をもとに、「証言ビデオ貸出申請書」（以下、「申請書」という。）を提出、又は沖縄県電子申請システムを使用して貸出の申請を行う。
- (2) 職員は申請書を確認した後、「証言ビデオ貸出許可証」（以下、「許可証」という。）を証言ビデオと一緒に申請者に交付する。
- (3) 利用者は返却時に証言ビデオと許可証を一緒に返却する。

### 3 貸出期間

原則として2週間以内とする。

### 4 貸出本数

原則として5本以内とする。

### 5 貸出条件

- (1) 申請書の目的以外に使用しないこと。
- (2) 転貸借をしないこと。
- (3) 複製をしないこと。
- (4) 営利目的に使用しないこと。
- (5) 滅失・汚損・き裂した場合は、相当の代価をもって損害を賠償すること。

### 6 その他

証言ビデオの貸出は無料とする。但し、郵送又は宅配便利用の際は申請者負担とする。

沖縄県平和祈念資料館

〒901-0838 沖縄県糸織市摩文仁614番地の1

TEL 098-997-3844

FAX 098-997-3947

# 戦争体験証言ビデオ貸出申請書

平成 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館 殿

団体名  
郵便番号  
住 所  
電話番号  
申請者名

印

戦争体験証言ビデオの貸出しを申請します。

## 1 目 的

## 2 期 間（2週間以内を原則とする。）

平成 年 月 日（ ）～平成 年 月 日（ ）まで

## 3 本 数（5本以内を原則とする。）

\_\_\_\_\_本

## 4 ビデオ№ \_\_\_\_\_

### 貸出条件

- (1) 申請書の目的以外に使用しないこと。
- (2) 転貸借をしないこと。
- (3) 複製をしないこと。
- (4) 営利目的に使用しないこと。
- (5) 滅失・汚損・き損した場合は、相当の代価をもって損害を賠償すること。

沖繩県立平和記念資料館(旧館)年度別入館状況

年度別	有科観覧										無料 観覧者	総 計	観 覧 者 数	用 紙 一 冊	一 人 一 枚 の 枚 数	考 考
	概 覧 科 種 別					出 身 別										
	大人個人 (%)	大人団体 (%)	小大人 (%)	小大人団体 (%)	小計 (%)	県内	県外	外国	小計	無料 観覧者						
昭和50年度	13,784(76)	2,025(11)	1,759(9)	900(5)	18,468				18,468		18,468	345	74			
51年度	9,520(53)	4,232(22)	3,635(19)	3,408(19)	18,091				18,091		18,091	306	59			
52年度	10,480(56)	4,284(22)	3,118(16)	3,932(20)	19,794				19,794	2,553	22,347	307	72			
53年度	16,022(46)	4,555(14)	1,877(5)	14,097(41)	34,551				34,551		34,551	220	178			
54年度	22,257(41)	6,307(12)	3,600(7)	21,512(40)	33,776				33,776		33,776	305	175			
55年度	26,777(38)	5,850(11)	3,109(6)	23,722(34)	35,426	176	22,746		35,426		35,428	307	174			
56年度	25,215(34)	5,985(10)	3,367(6)	29,211(50)	34,678	519	24,797		34,678	1,736	36,414	304	132			
57年度	28,257(36)	7,077(10)	4,243(6)	34,254(38)	38,709	522	38,030		38,709	1,355	40,064	337	249			
58年度	25,253(55)	8,051(11)	5,822(16)	38,272(48)	34,796	686	40,029		34,796	1,831	36,627	337	252			
59年度	27,265(34)	9,206(11)	3,932(5)	38,791(50)	36,949	1,210	46,386		36,949	2,375	39,324	222	326			
60年度	23,888(33)	15,265(21)	4,761(7)	43,673(50)	34,993	3,681	60,371		34,993	2,538	37,531	306	326			
61年度	27,529(27)	13,364(13)	4,523(5)	54,622(57)	34,783	1,780	68,581		34,783	2,429	37,212	306	335			
62年度	40,666(34)	14,395(12)	5,441(5)	57,956(63)	33,238	2,931	81,019		33,238	4,875	38,113	306	403			
63年度	45,038(34)	16,719(13)	5,557(4)	63,916(48)	34,512	2,952	95,473		34,512	3,372	37,884	306	446			
平成元年度	35,323(31)	14,477(12)	7,016(6)	39,383(51)	27,941	3,640	64,606		27,941	5,863	33,804	307	327			
2年度	28,314(29)	12,281(13)	5,950(6)	32,511(33)	32,855	3,301	71,010		32,855	12,353	45,208	305	588			
3年度	25,687(30)	11,246(13)	3,275(5)	45,409(51)	20,182	3,901	64,938		20,182	5,563	25,745	305	320			
4年度	26,509(32)	9,778(12)	3,681(5)	40,021(29)	17,197	3,152	61,011		17,197	10,950	28,147	307	393			
5年度	23,687(38)	11,191(17)	5,683(7)	41,461(51)	15,272	3,653	62,130		15,272	4,045	19,317	310	274			
6年度	18,056(23)	9,161(12)	4,503(6)	48,082(69)	13,551	4,755	62,328		13,551	2,979	16,530	310	267			
7年度	20,319(25)	16,678(11)	13,837(9)	53,282(35)	45,214	4,348	102,854		45,214	7,647	52,861	308	375			
8年度	59,623(39)	16,393(11)	11,056(7)	64,840(43)	28,349	3,506	121,585		28,349	5,593	33,942	311	457			
9年度	62,485(35)	13,247(3)	10,137(6)	91,099(52)	26,125	2,861	173,556		26,125	6,940	33,065	310	363			
10年度	58,196(35)	16,247(6)	10,426(6)	89,955(52)	15,211	2,828	151,185		15,211	4,947	20,158	312	325			
11年度	59,874(34)	8,287(4)	9,952(6)	97,494(56)	12,122	3,585	146,784		12,122	4,813	20,935	295	611			
計					2,357,839	194,722			2,357,839		2,552,561					

